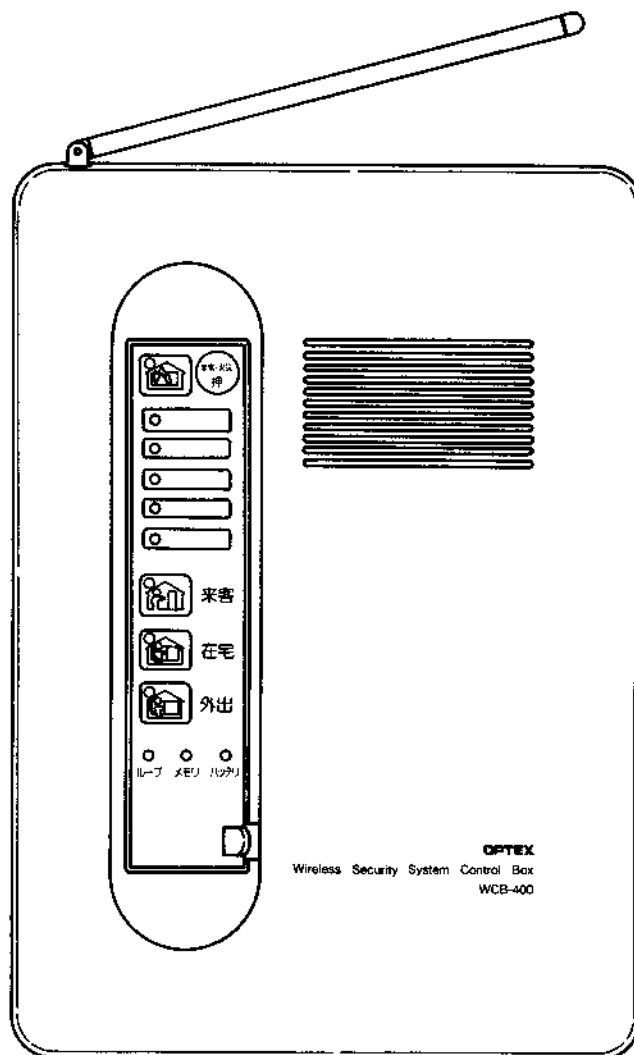


# ワイヤレスセキュリティシステム 《受信器・主装置》

コントロールボックス

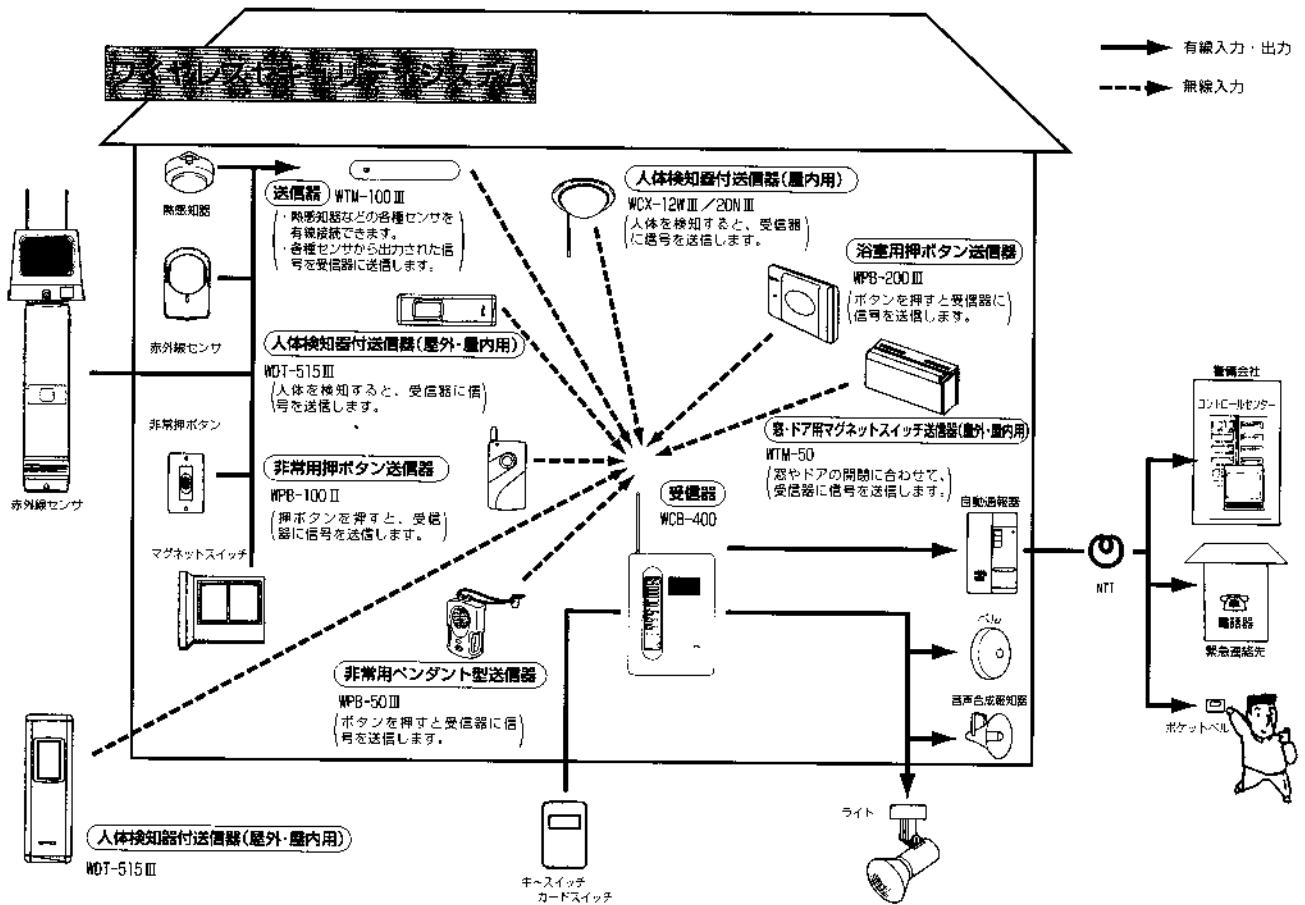
## WCB-400施工説明書

このたびは、ワイヤレスセキュリティシステムWCB-400  
をお買い求めいただきありがとうございます。ご使用にな  
る前に必ず本説明書をお読みください。

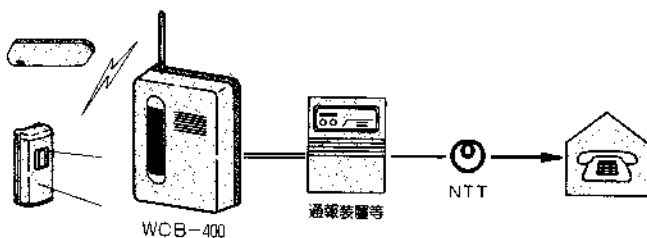


# はじめに

WCB-400 (受信器:主装置) は、弊社ワイヤレスセキュリティシステムの送信器 (別売) と組み合わせて使用し、侵入・火災・非常通報等の信号を、小電力セキュリティ電波を使用して、電話回線などに自動通報装置等を介して緊急通報を行う為の装置です。



## 電気通信回線設備への接続



この無線装置は電気通信回線に接続して使用するものです。ただしWCB-400(受信器)は自動通報装置等(技術基準適合認定品に限ります。)を介して電気通信回線設備に接続して使用する為、利用する回線の種類は特定していません。WCB-400の自動通報装置等(認定品)への接続は、WCB-400の無電圧接点出力端子(受信器の取扱説明書、P7参照)を自動通報装置等(認定品)のセンサ入力端子等へ接続して御使用下さい。

# 目次

	ページ
1 おもな特長・機能	2
2 正しくご使用いただくために	4
3 各部の名称	5
4 お取り付け方法	6
5 配線	7
6 操作前に必要な設定について	8
6-1 システムコードについて	8
6-2 スーパーバイズド機能について	8
6-3 送信器使用数設定スイッチについて	9
6-4 送信器の登録（スーパーバイズド機能を使用する場合）	10
7 動作確認	11
7-1 防犯来客報知モードを使用する場合	11
7-2 在宅警戒モードを使用する場合	12
7-3 外出警戒モードを使用する場合	14
7-4 非常・火災通報機能を使用する場合	16
7-5 外部機器制御スイッチについて	17
8 ループ、メモリ、バッテリー表示灯について	18
8-1 ループ表示灯が点滅した場合	18
8-2 メモリ表示灯が点滅した場合	20
8-3 バッテリー表示灯が点滅した場合	21

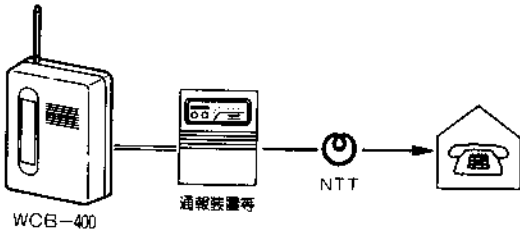
9	警報出力設定部について	22
9-1	ゾーンアンド機能とは	23
9-2	アンド時間について	24
9-3	アンドON/OFFスイッチ	25
9-3-1	ゾーンアンド機能を使用した警報出力	25
9-3-2	ゾーンアンド機能を使用しない警報出力	26
9-3-3	無電圧接点リレー出力を使用しない場合	26
9-4	N.C./N.O.切替スイッチ	27
10	警備開始・解除スイッチについて	27
11	キースイッチ、カードリーダーについて	28
11-1	キースイッチ、カードリーダーにより外出警戒をセット解除する場合	29
11-2	受信器のキースイッチ表示灯が点滅していた場合	29
12	受信感度表示灯について	30
13	非常用電源（バッテリー）について	30
14	WBC-400の操作説明	31
15	異常時の点検について	32
16	仕様	34
17	外形寸法図	35

# 1. おもな特長・機能

- ・ワイヤレスセキュリティシステムWCB-400はワイヤレスセキュリティシステムの各送信器と組み合わせてご使用ください。
- ・家庭や店舗などに不法な侵入者があった場合は警報音や外部機器により早期発見、威嚇を行なうと同時に自動通報装置等を介して、電話回線等を通じて、外部へ緊急通報を行います。
- ・非常事態や火災が発生した場合に警報音や外部機器により早期発見をうながすと同時に外部へ緊急通報を行います。
- ・不意の訪問者があった場合チャイム音によりお知らせします。

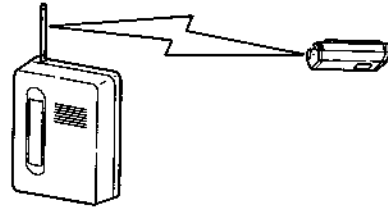
## 1. 電気通信回線設備への接続

この無線装置は自動通報装置等（技術基準適合認定品に限ります。）を介して電気通信回線設備に接続して使用するものです。



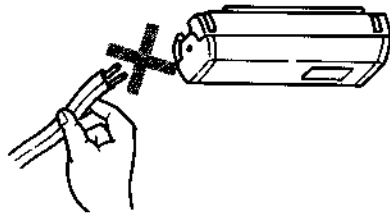
## 2. 小電力セキュリティシステム

ワイヤレスセキュリティシステムの送信器、受信器は小電力セキュリティシステムの無線局の無線設備ですので、市販の特定小電力トランシーバー、コードレス電話とほぼ同等の電波到達距離が得られます。



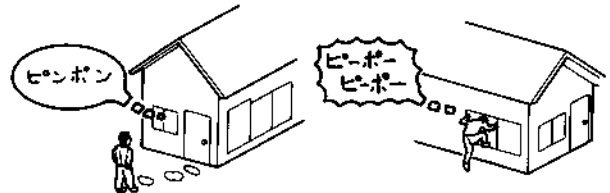
## 3. 設置が簡単

ワイヤレスなので配線工事を簡略化できます。送信器を何台設置しても配線の必要がありません。配線の引きまわしがないので建物の美観を損ないません。



## 4. 防犯来客報知、侵入者警戒可能

ワイヤレスセキュリティシステムでは不意の訪問者を知らせる防犯来客報知、就寝時などに設定する在宅警戒、外出時など不在の場合に設定する外出警戒が可能です。



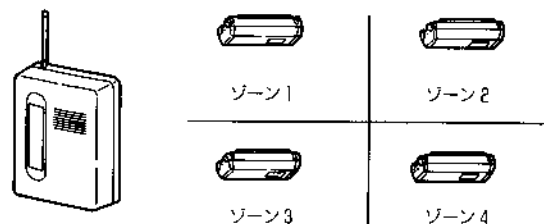
## 5. 非常・火災通報可能

熱感知器などを設置して非常・火災通報ができます。火災などの非常事態を警報音や外部警報器（丸ベル等）で知らせます。受信器本体の非常・火災用ボタンにより警報を出力することもできます。



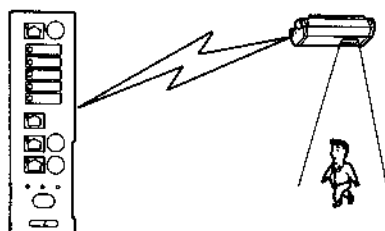
## 6. 4ゾーン（4地区）の警戒・報知可能

4つのゾーンが用意されています。すべてのゾーンに防犯来客報知用センサ、在宅・外出警戒用センサが設置できます。



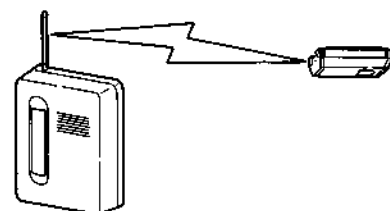
## 7. ゾーン判別機能

受信器の表示灯により、どのゾーンで人体が検知されたかがわかります。



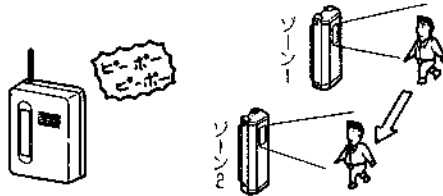
## 8. 無線送信器のループ管理可能

スーパーバイズド機能（定時送信）により無線送信器のループ管理が可能です。



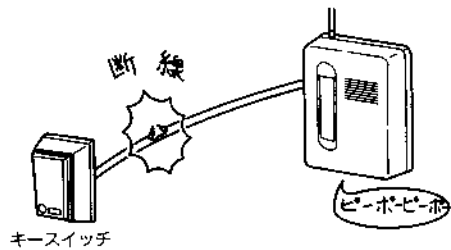
### 9. ゾーンアンド機能

植木などがあり、その落葉の影響でセンサが誤報する場合、2つのゾーンでセンサが検知してはじめて警報を出力する機能のことです。そうすることで誤報を少なくすることができます。



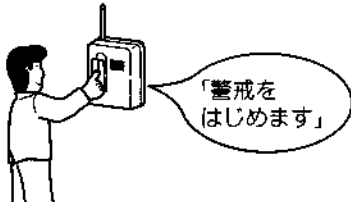
### 10. キースイッチ専用の表示灯

キースイッチ専用の表示灯が設けられていますのでキースイッチに異常が発生した場合、受信器で確認できます。



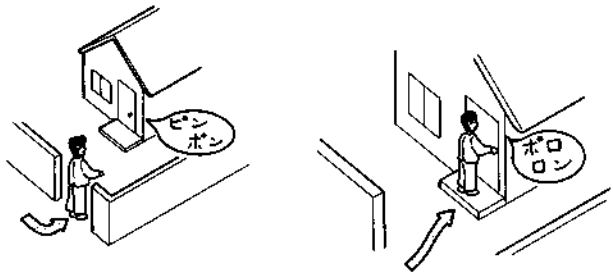
### 11. 警戒・解除状態をアナウンス

「警戒をはじめます」、「解除になりました」  
「間もなく警戒をはじめます。1分以内に退出してください。」とそれぞれアナウンスしますので、警戒セット・解除を音声により確認することができます。



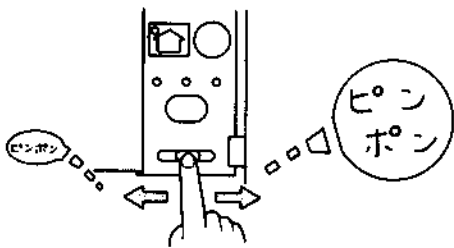
### 12. チャイム音は4種類

訪問者があった場合、4種類のチャイム音によりお知らせします。



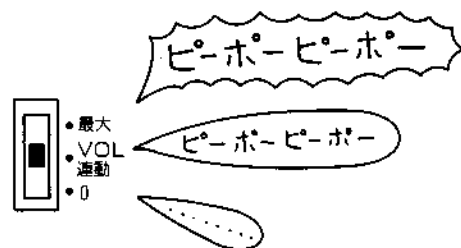
### 13. チャイム音量調整機能

受信器の音量調整ボリュームによりチャイム音をお好みの音量に調整することができます。



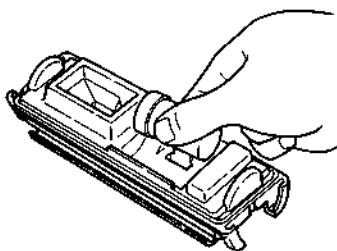
### 14. 警報音量調整機能

受信器の警報音音量スイッチにより警報音の音量を3段階で調整することができます。



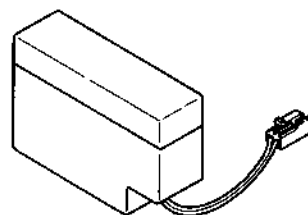
### 15. 電池切れ、バッテリー充電を表示

送信器の電池切れ、受信器のバッテリー充電が必要になった場合、受信器のバッテリー表示灯によりお知らせします。



### 16. 停電時も安心

非常用電源としてバッテリーを搭載していますので、停電時にも約20分間は動作します。

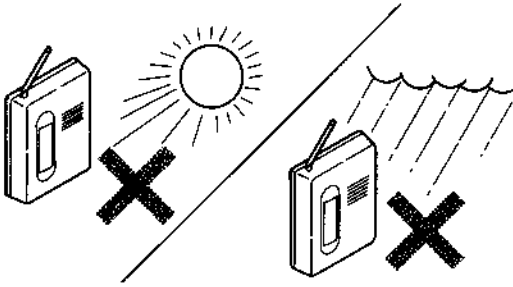


## 2. 正しくご使用いただくために

WCB-400をご使用の際は下記の項目に注意してください。

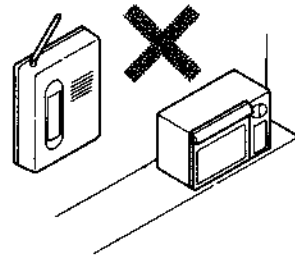
### 1. 屋外には取付けないでください。

屋内専用機器ですので屋外では使用できません。屋外で使用されますと機器の故障の原因となります。



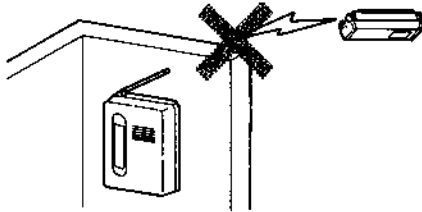
### 2. 他の電気製品のそばには取り付けないでください。

ファックス、パソコン、テレビ、電子レンジなどの電気製品のそばに取り付けますと正常に動作しない場合があります。

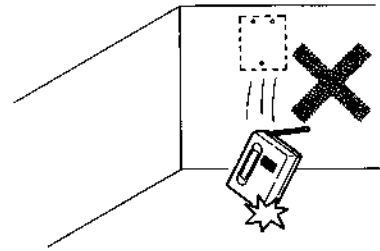


### 3. 電波到達距離が短くなる場合があります。

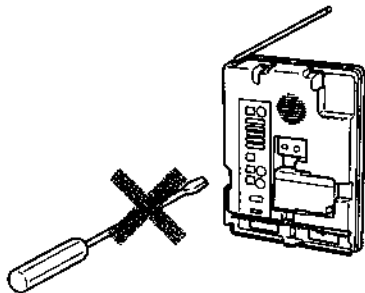
送信器と受信器の間に鉄筋コンクリートや金属製の障害物があると電波の届く距離が短くなる場合があります。



### 4. 機器本体を落としたり強い衝撃を与えないでください。



### 5. 本体を分解して内部を改造したりしないでください。



### 6. 従来のワイヤレスセンサシステムとは互換性がありません。

従来のワイヤレスセンサシステム（〇〇-1FJ、〇〇-2といったタイプのもの）とは互換性ありませんのでご注意ください。



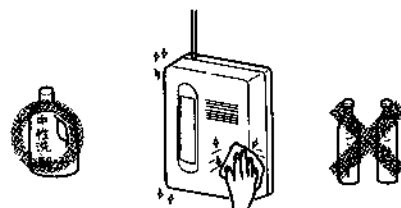
### 7. バッテリーの交換時期は3年を目安としてください。

非常用電源として搭載されているバッテリーを3年以上使用しますと電池の容量が減ってきますので停電補償時間が短くなります。バッテリー交換の際はご購入上げの販売店もしくは弊社までお申しつけください。



### 8. 機器本体が汚れた場合は中性洗剤を含んだやわらかな布でふいてください。

シンナー、ベンジンなどの化学薬品は表面を傷つけることがあります。

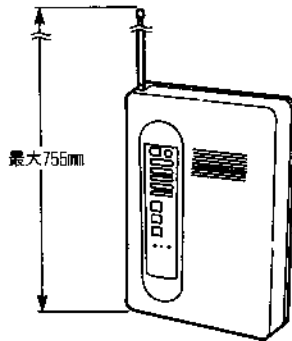




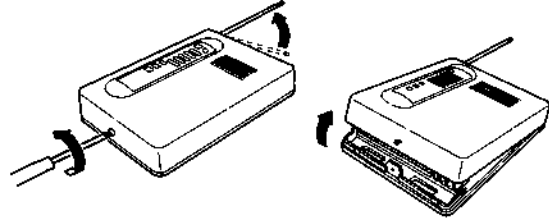


## 4. お取り付け方法

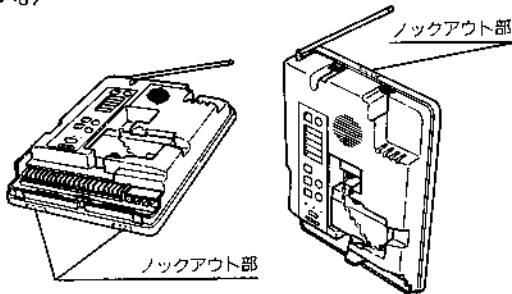
- ① アンテナをいっぱいまで伸ばしてじゃまにならない場所をえらんでください。



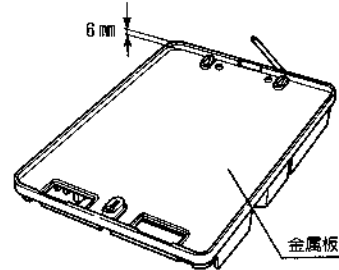
- ② アンテナをたててから、カバーを本体よりはずしてください。



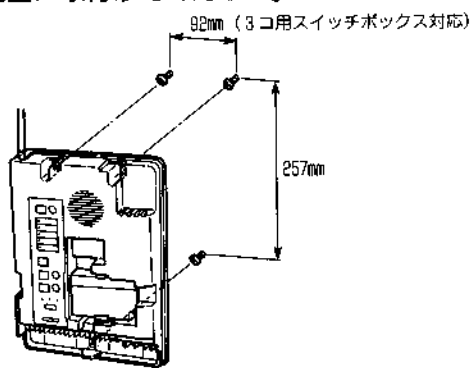
- ③ 露出配線をされる場合には本体のノックアウト部をニッパなどで破ってください。(上部1ヶ所、下部2ヶ所あるので必要な分だけ破ってください。)



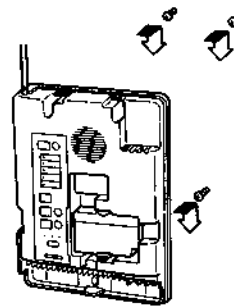
- ④ 本体の裏側には配線スペースを設けてあります。壁面に穴をあけて線を取りだし、壁面と本体裏の金属板との間のスペースに線を通すことができます。



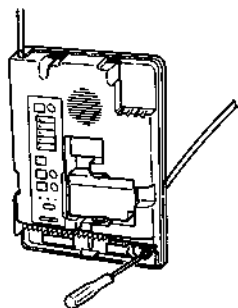
- ⑤ 取り付けようとする位置に付属のタッピンビス3本を壁面に取付けてください。



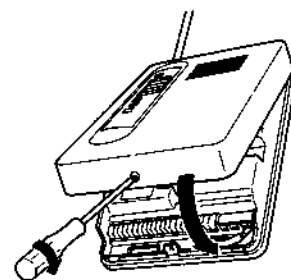
- ⑥ 位置が決まりましたら、本体をビスに引っかけてください。



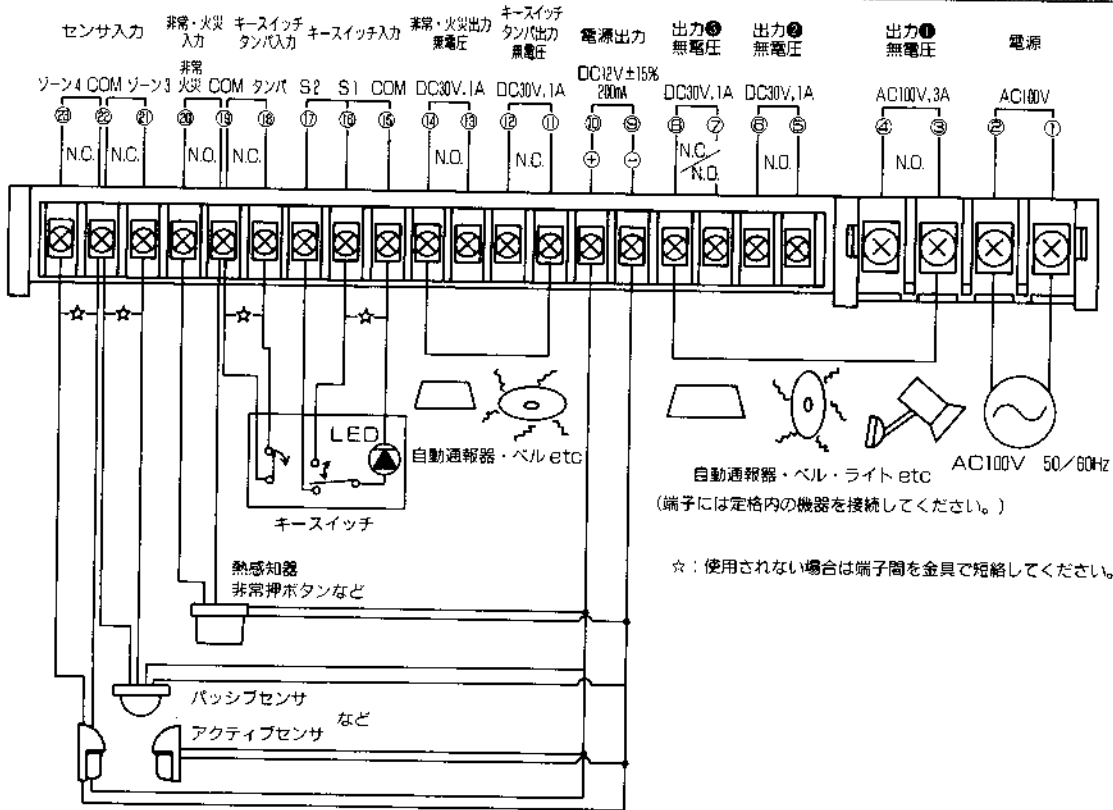
- ⑦ 「5. 配線」を参照のうえ配線を行なってください。



- ⑧ 各種スイッチの設定、動作確認まで完了すればカバーを取付けて本体固定用のビスを締めてください。



# 5. 配 線



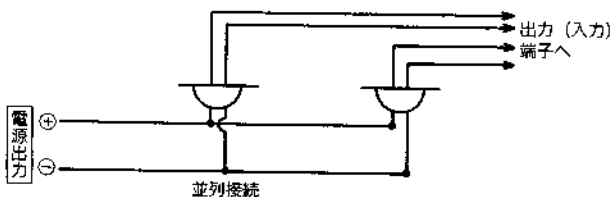
自動通報器・ベル・ライト etc AC100V 50/60Hz  
 (端子には定格内の機器を接続してください。)  
 ☆：使用されない場合は端子間を金具で短絡してください。

## 電気通信回線設備への接続

この無線装置は自動通報装置等（技術基準適合認定品に限ります。）を介して電気通信回線設備に接続して使用するものです。自動通報装置等（認定品）への接続は、WCB-400の無電圧接点出力端子を自動通報装置等（認定品）のセンサ入力端子等へ接続して御使用下さい。

- 出力①（端子③、④）  
無電圧接点リレー出力 リレー容量 AC100V、3A以下、N.O.出力
- 出力②（端子⑤、⑥）  
無電圧接点リレー出力 リレー容量 DC30V、1A以下、N.O.出力
- 出力③（端子⑦、⑧）  
無電圧接点リレー出力 リレー容量 DC30V、1A以下  
N.C./N.O.切換スイッチによりリレー出力を切り換えることができます。（P.27参照）
- 電源出力（端子⑨、⑩）  
電源容量 DC12V±15%、200mA  
センサやベルなどの電源を供給します。2台以上接続の場合、並列に配線してください。

- キースイッチタンパ出力（端子⑪、⑫）  
無電圧接点リレー出力 リレー容量DC30V、1A、N.C.出力  
キースイッチのタンパ線が断線された場合、出力します。
- 非常・火災通報出力（端子⑬、⑭）  
無電圧接点リレー出力 リレー容量DC30V、1A、N.O.出力  
非常・火災用センサ（無線、有線ともに）から非常事態の信号が送られてきた場合や、本体の操作パネル部の非常・火災通報ボタンを押すと出力します。
- キースイッチ入力（端子⑮、⑯、⑰）  
キースイッチを接続される場合は、オルタネイト型をご使用ください。  
キースイッチ入力を使用されない場合はS1（⑱）とCOM（⑲）を金具で短絡してください。
- キースイッチタンパ入力（N.C.入力、端子⑲、⑳）  
キースイッチのタンパ線を配線します。キースイッチタンパ入力を使用されない場合はタンパ（⑲）とCOM（⑲）を金具で短絡してください。
- 非常・火災信号入力（N.O.入力、端子㉑、㉒）  
非常・火災用センサ（熱感知器など）や非常押しボタンを接続します。2台以上接続する場合は並列に配線してください。
- センサ入力（N.C.入力、端子㉓、㉔、㉕）  
パッシブセンサ・アクティブセンサなどを接続します。ゾーン3（㉓）とCOM（㉔）に配線するとゾーン3専用のセンサとなります。COM（㉔）とゾーン4（㉕）に配線するとゾーン4専用のセンサとなります。ゾーン3（㉓）とCOM（㉔）あるいはCOM（㉔）とゾーン4（㉕）を使用されない場合は、それぞれを金具で短絡してください。



## ご注意

配線後、必ず電源出力端子（端子⑨、⑩）が短絡されていないことを確認してください。  
 （短絡すると機器が損傷する事があります。）

## 6. 操作前の必要な設定について

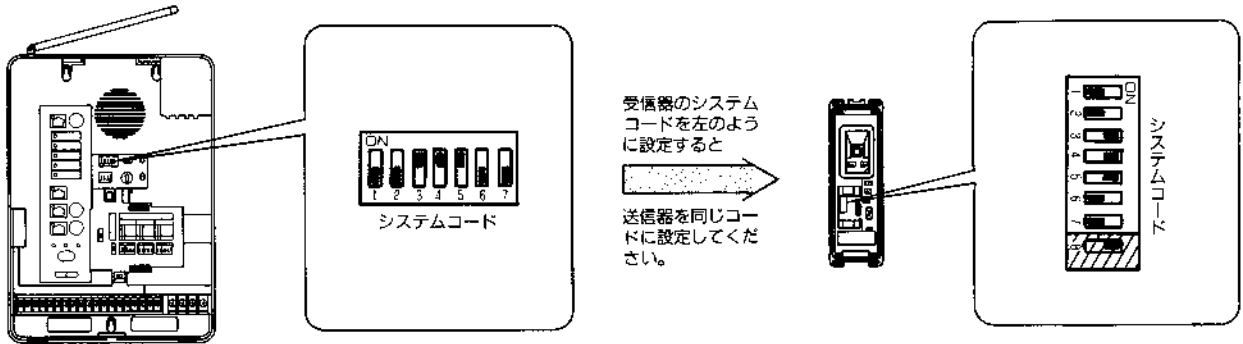
操作前にシステムコード、送信器使用数設定スイッチを必ず設定してください。

もし、システムコードの設定を誤りますと送信器の電波を受信しません。

またスーパーバイズド機能を理解せずに送信器使用数設定スイッチを設定しますとシステムとしての動作が正常なのが異常なのか判断できなくなりますので、この章は必ずお読みください。

### 6-1. システムコードについて

ワイヤレスセキュリティシステムをご使用になる際、ご近所でワイヤレスセキュリティシステムを使用していますと互いの電波が混信する可能性があります。混信した場合には、送信器・受信器のシステムコードでコードの変更を行ってください。その際には送信器と受信器を同じコードに設定してください。



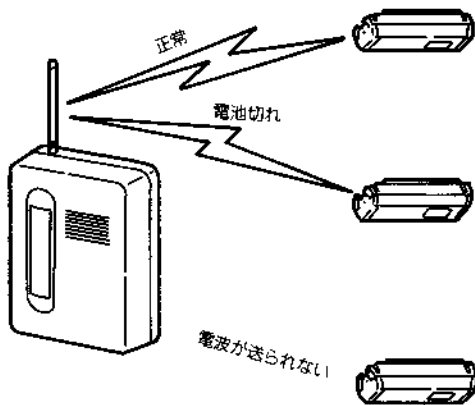
#### ご注意

システムコードのスイッチの数が受信器と送信器で異なりますが、1～7までのスイッチを同じコードに設定してください。送信器の8つ目のスイッチはON側固定ですので動かさないでください。

### 6-2. スーパーバイズド機能について

ワイヤレスセキュリティシステムにはスーパーバイズド機能（定時送信機能）があります。

- ① 従来、困難であった無線送信器のループ管理ができます。
- ② スーパーバイズド機能を使用するか、しないかは送信器使用数設定スイッチにより設定できます。（☞P. 9参照）



一定時間（約60分）ごとに送信器が電波を送信します。

受信器は、電波が送信されてきたことを記憶します。（スーパーバイズド送信は人体を検知した場合の信号とは異なりますので警報音、チャイム音が鳴ることはありません。）

もしも、送信器からのスーパーバイズド送信がなかったら…

- 送信器に異常が起こり、電波を送信していない。
- 送信器から送信されている電波が受信器に届いていない。

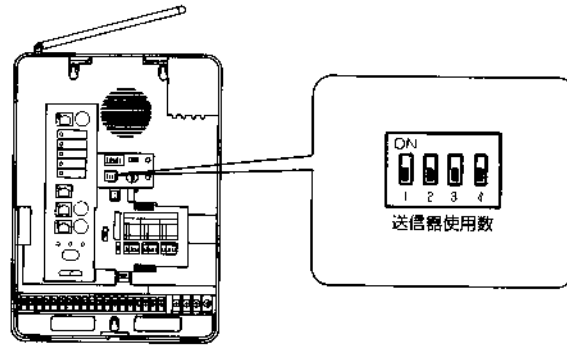
受信器は送信器から電波が送信されてこないで送信器に異常が起こったと判断します。（150分以内にスーパーバイズド送信が一度もなければ異常と判断します。）

異常が起こった場合にはループ表示灯が点滅します。（☞P. 18参照）

スーパーバイズド機能によりループ管理できる無線送信器は15台までです。

16台以上使用される場合はループ管理できませんのでご注意ください。

## 6-3. 送信器使用数設定スイッチについて

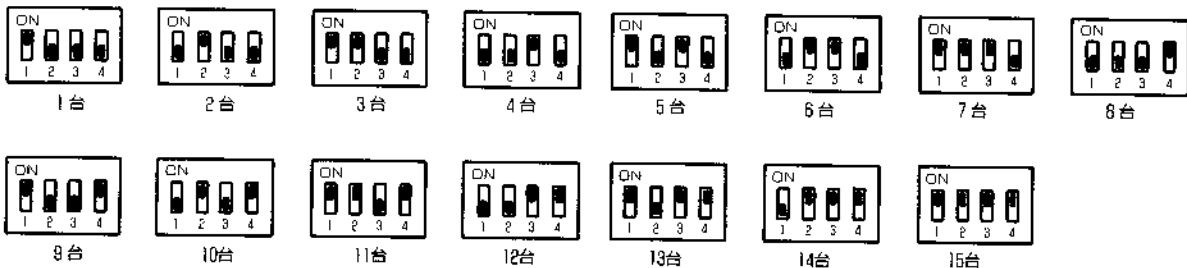


送信器使用数設定スイッチにより、送信器の使用台数を設定します。ただしこのスイッチはスーパーバイズド機能と関係がありますので次のことに注意して設定してください。

- ① スーパーバイズド機能を使用する場合  
使用する送信器の数に合わせてスイッチを設定してください。（最大15台まで設定可能）
- ② スーパーバイズド機能を使用しない場合  
スイッチは、使用する送信器の数に関係なくスーパーバイズドOFFに設定してください。（15台以下の送信器を使用する場合もスーパーバイズドOFFに設定してください。）

### スーパーバイズド機能を使用する場合

送信器は1～15台まで設定できます。16台以上使用する場合はスーパーバイズド機能は使用できません。下の図を参考に送信器の使用数を設定してください。使用する送信器の数とスイッチの設定が異なると受信器が動作しない、使用する送信器のうち何台かが登録されていないといった問題が発生しますのでご注意ください。



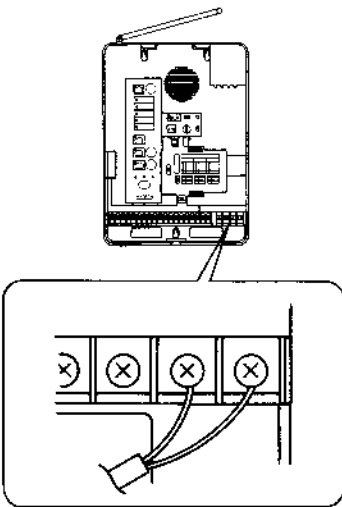
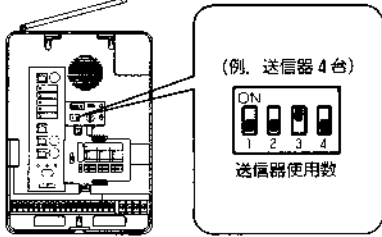
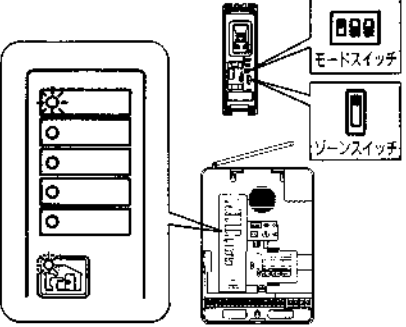
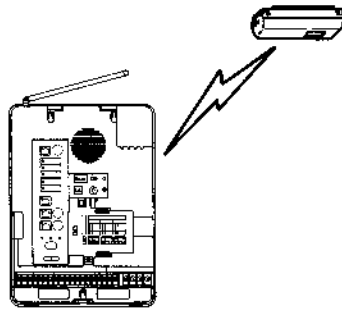
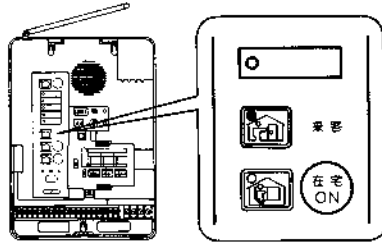

### スーパーバイズド機能を使用しない場合

送信器を16台以上使用する場合、もしくはスーパーバイズド機能を使用しない場合はスイッチをスーパーバイズドOFFに設定してください。送信器は何台でも使用できます。



## B-4 送信器の登録 (スーパーバイズド機能を使用する場合)

スーパーバイズド機能を使用する場合、システムを動作させる前に送信器使用数設定スイッチにより設定された台数の送信器を受信器に登録してください。

<p>① 電源入力端子に電源を投入してください。</p> 	<p>② 使用する送信器の台数を送信器使用数設定スイッチにより設定してください。(P.9参照) すべての表示灯が消灯します。</p> 	<p>③ 送信器のスイッチ設定完了後、送信器を動作させてください。(送信器の検知窓の前で左右に手を動かしてください。) 受信器は送信器で設定されたモード、ゾーンを表示灯により表示します。(モード、ゾーン表示灯3秒間点滅) 同時にチャイム音、もしくは警報音になります。</p> 
<p>④ すべての送信器について③の作業を行ってください。 (1台の送信器から2回電波が送信されても受信器は1台の送信器として記憶します。)</p> 	<p>⑤ 使用するすべての送信器の登録が完了すると「ピー音」とともに来客表示灯が点灯します。(来客モードになります。)</p> 	<p>⑥ 登録完了後は送信器使用数設定スイッチを動かさないでください。登録完了後、スイッチを動かしますと最初(送信器を1台目から登録)からやり直すことになります。</p> 

### ご注意

- 送信器使用数設定スイッチを「スーパーバイズドOFF」の設定にしますと送信器を登録する必要はありませんので電源を投入すると来客表示灯が点灯して来客モードになります。
- モードスイッチが非常・火災に設定されている送信器(WTM-100)を登録すると警報音とともに非常・火災通報表示灯が3秒間点滅します。

## 7. 動作確認

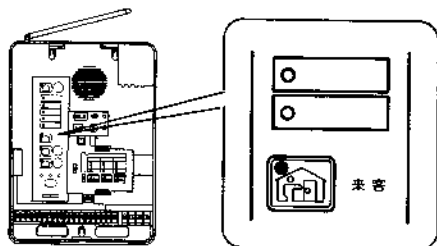
受信器の取り付け、配線および各種スイッチ設定がすべて完了しましたらつぎの要領で動作確認をおこなってください。

- ① 電源が入っているかどうか確認してください。
- ② チャイムの音量（音量調整ボリューム）、警報音の音量（警報音音量スイッチ）、警報出力時間（警報出力保持タイマ）を設定してください。
- ③ カバーをはずした状態で操作してください。その場合外部機器制御スイッチ（☞P.17参照）がはたらき、受信器の出力端子に接続された外部機器は動作しません。外部機器を動作させたい場合はカバーを取り付けるか、外部機器制御スイッチを押してください。
- ④ スーパーバイズド機能を使用される場合は送信器の登録をおこなってください。（☞P.10参照）
- ⑤ 各項目の手順に従って動作確認してください。

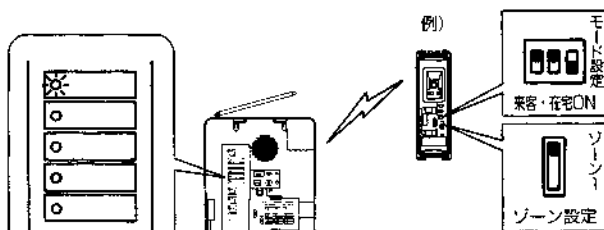
### 7-1. 防犯来客報知モードを使用する場合

家庭や店舗などに不意の訪問者があった場合、モードスイッチが“A. 来客”（防犯来客報知モード）に設定されている送信器が人体を検知すると受信器は表示灯とチャイム音により報知します。

- ① 受信器の防犯来客報知モード表示灯（緑色）が点灯していることを確認してください。点灯していない場合は送信器の登録が完了していないか、別のモードに設定されていることが考えられますので確認してください。（別のモードに設定されている場合は解除ボタンを押してください）

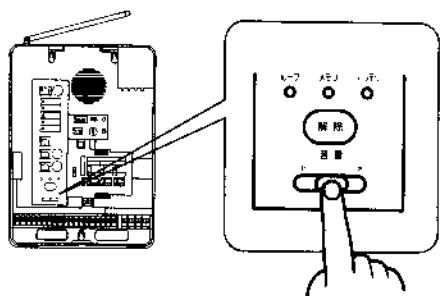


- ② モードスイッチが“A. 来客”に設定されている送信器を動作させてください。（検知窓の前で左右に手を動かしてください）チャイム音と同時にゾーン表示灯（赤色）が3秒間点滅→3秒間点灯→消灯します。



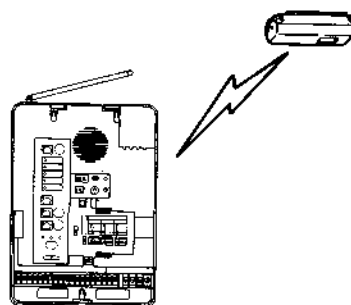
ゾーン1	ピンポン	ピンポン音1回
ゾーン2	ポロロン	ポロロン音2回
ゾーン3	ピッピッ	ピッ音8回
ゾーン4	ピッピッピッ	ピッピッ音8回

- ③ 動作確認しながらチャイム音量を調整してください。



（音量 最小 0  
最大 90ホーン （前方1mにて））

- ④ モードスイッチがA. 来客に設定されているすべての送信器について動作確認をしてください。



#### ご注意

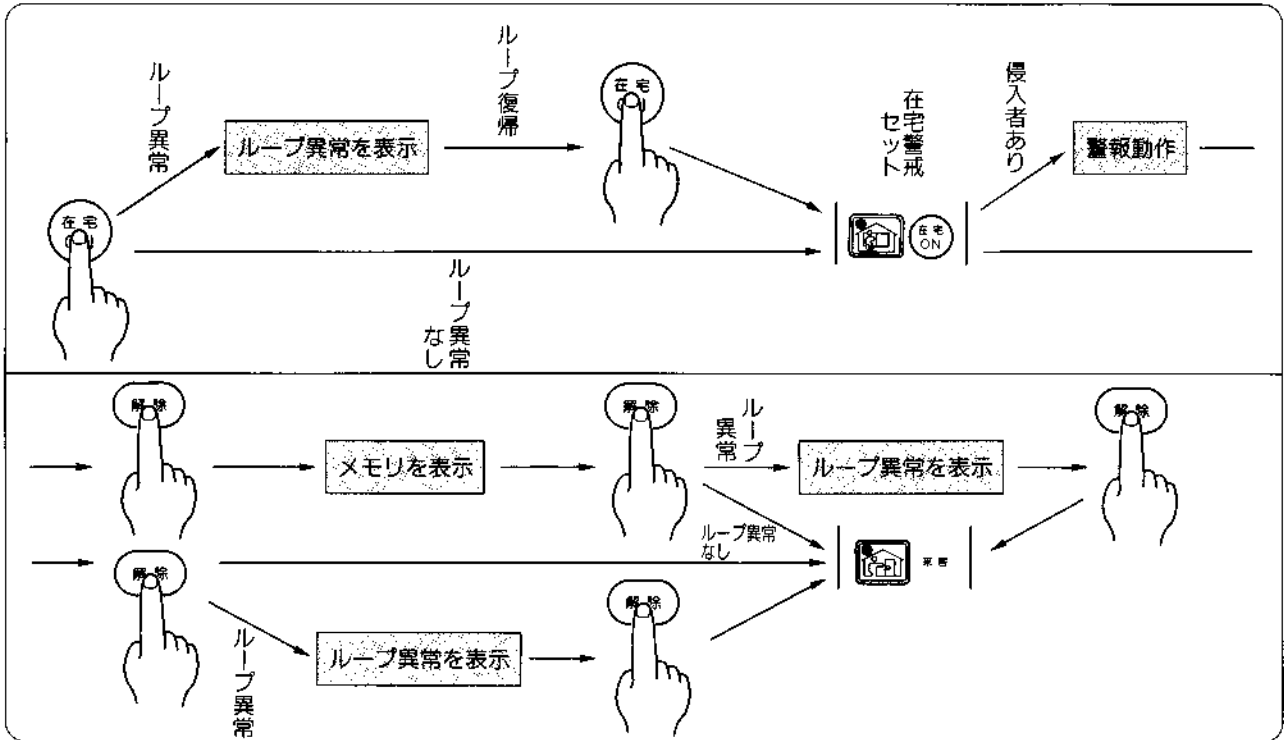
受信器には防犯来客報知モード設定用のボタンがありません。防犯来客報知モードに設定したい場合は解除ボタンを押してください。ループ表示灯やメモリ表示灯が点滅している場合にも解除ボタンを押すと防犯来客報知モード表示灯が点灯し、防犯来客報知モードになります。



## 7-2. 在宅警戒モードを使用する場合

在宅警戒モードは就寝時など家庭や店舗内に居ながら部分的に警戒したい場合に設定します。モードスイッチが“B, 在宅”に設定されている送信器およびゾーン3、ゾーン4の有線入力センサが侵入者などを検知すると警報音や外部機器により異常を知らせます。

在宅警戒モードセットから解除までの流れ図

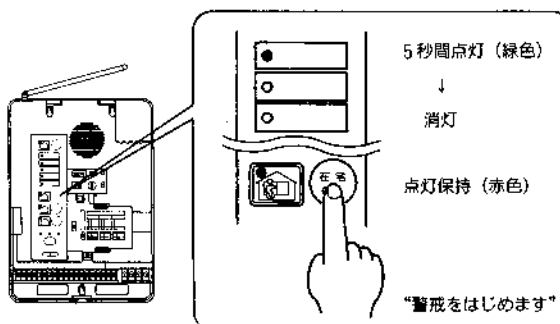


### 在宅警戒モードにおける受信器の動作確認

(モードスイッチが“B, 在宅”に設定されている送信器、ゾーン3、ゾーン4のセンサ入力端子に接続されているセンサを動作させてください。)

- ①在宅警戒ボタンを押して在宅警戒をセットしてください。  
「警戒をはじめます」の音声と同時に在宅表示灯(赤色)が点灯します。

**スーパーバイズド機能を使用している場合**  
在宅警戒モードで使用する送信器、有線入力センサが設置されているゾーンの表示灯(緑色)が5秒間点灯→消灯します。



在宅警戒ボタンを押したときに

次のような状態になった場合

#### ○バッテリー表示灯点滅

- ① 受信器のバッテリー容量が少なくなっている。
  - ② 送信器の電池が残り少なくなっている。
- ①、②のどちらかを示していますのでご確認ください。(P.21参照)

#### ○ループ表示灯点滅

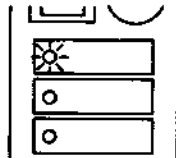
送信器もしくは有線入力センサのループ(回線)に異常が発生していることを示しています。同時にゾーン表示灯も点滅しますので、そのゾーンに設置されている送信器、有線入力センサのループをご確認ください。(P.18参照)

#### ご注意

ループ表示灯が点滅している場合、在宅警戒をセットすることができません。ループを復帰させた後に再びセットしてください。

- ② 受信器の在宅警戒モード表示灯が点灯していることをご確認ください。在宅警戒モードで使用する送信器、有線入力センサを動作させてください。受信器は次のように動作します。

人体検知センサを動作させる場合は検知窓の前で左右に手を動かしてください。ビームセンサの場合はビームを手で遮断してください。



3秒点滅 (赤色)

↓

点灯保持 (赤色)

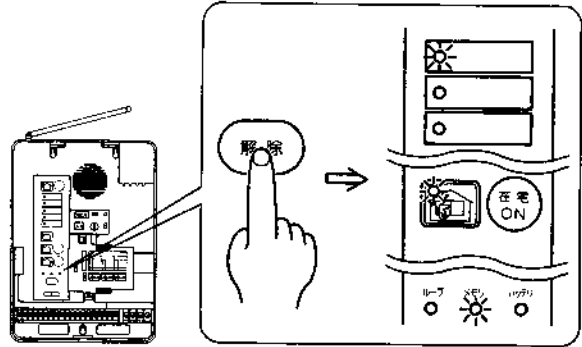
警報音

ピーポーピーポー

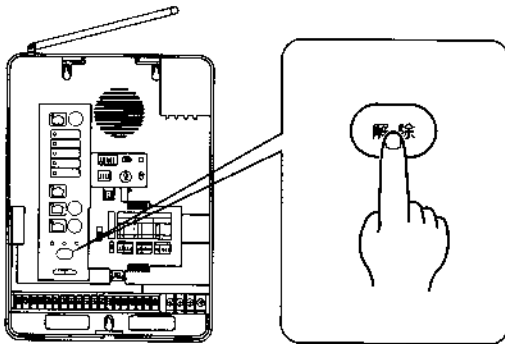
警報出力保持タイムにより設定した時間だけ鳴ります。

在宅警戒に使用するすべてのセンサを動作させてください。

- ③ 解除ボタンを押してください。ピー音とともにメモリ表示灯、在宅警戒モード表示灯、ゾーン表示灯が点滅します。点滅しているゾーン表示灯は動作したセンサが設置されているゾーンを示しています。(P.20参照)

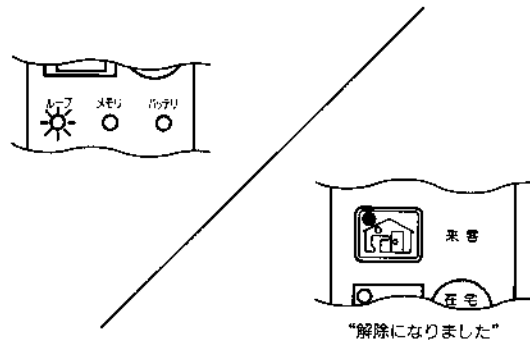


- ④ 再び解除ボタンを押してください。

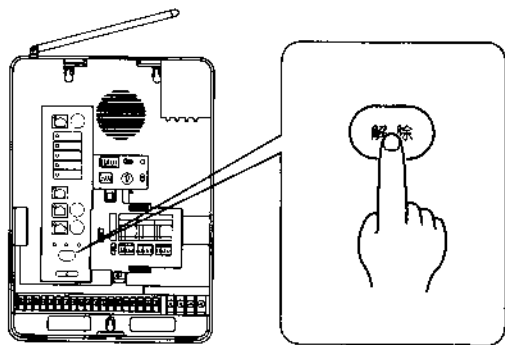


- ⑤ 在宅警戒モードで使用する送信器、有線入力センサにループ異常があった場合はループ表示灯が点滅します。(P.18参照)

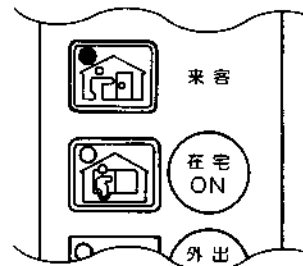
ループ異常がなければ「解除になりました」の音声と同時に防犯来客報知モード表示灯が点灯して防犯来客報知モードになります。



- ⑥ 解除ボタンを押してください。



- ⑦ 「解除になりました」の音声と同時に防犯来客報知モード表示灯が点灯して防犯来客報知モードになります。

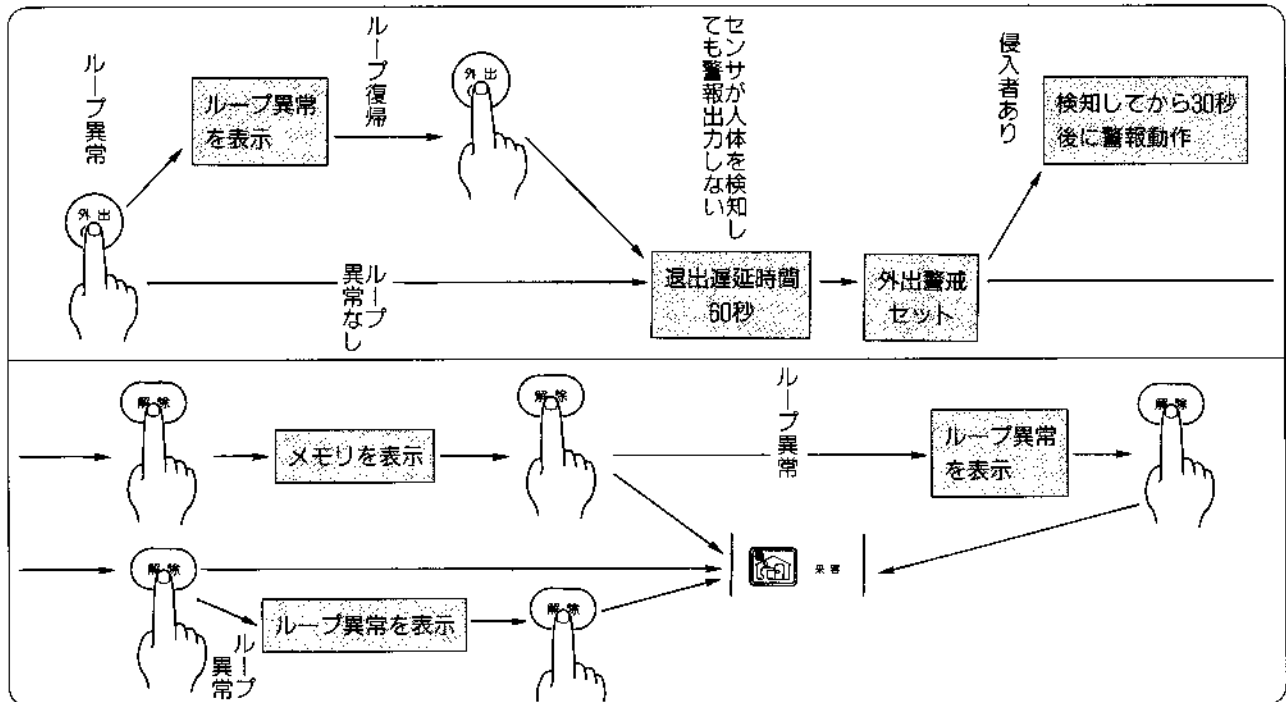




## 7-3. 外出警戒モードを使用する場合

外出・退出時、無人状態の家庭や店舗などを警戒したい場合に設定します。モードスイッチが“C. 外出”に設定されている送信器およびゾーン3、ゾーン4の有線入力センサが侵入者などを検知すると警報音や外部警報器により異常を知らせます。

### 外出警戒モードセットから解除までの流れ図



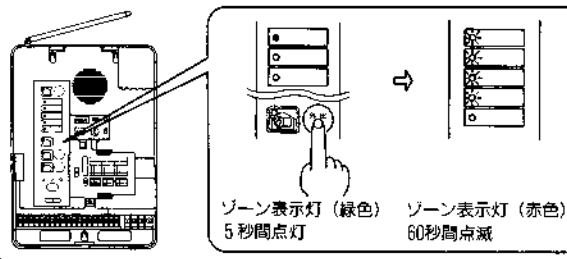
### 外出警戒モードにおける受信器の動作確認

(モードスイッチが“C. 外出”に設定されている送信器、ゾーン3、ゾーン4のセンサ入力端子に接続されているセンサを動作させてください。)

- ① 外出警戒ボタンを押して外出警戒をセットしてください。「まもなく警戒をはじめます。1分以内に退出してください。」の音声と同時に、ゾーン1～4のすべての表示灯(赤色)と外出表示灯(赤色)が約60秒間(退出遅延時間)<sup>注1</sup>点滅します。

#### スーパーバイズド機能を使用している場合

外出警戒モードで使用する送信器、有線入力センサが設置されているゾーンの表示灯(緑色)が5秒間点灯→消灯します。



注1 退出遅延時間とは

外出警戒ボタンを押してから実際に警戒に入るまでの時間のこと(60秒間)。この時間内に送信器・有線入力センサからの信号を受信しても警報出力しません。キースイッチ・カードリーダーにより外出警戒をセットした場合には退出遅延時間はたられません。

#### ○ バッテリー表示灯点滅

- ① 受信器のバッテリー容量が少なくなっている。
  - ② 送信器の電池が残り少なくなっている。
- ①、②のどちらかを示していますのでご確認ください。(P.21参照)

#### ○ ループ表示灯点滅

送信器もしくは有線入力センサのループ(回線)に異常が発生していることを示しています。同時にゾーン表示灯も点滅しますので、そのゾーンに設置されている送信器、有線入力センサのループをご確認ください。(P.18参照)

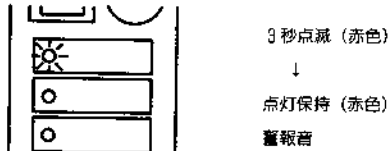
外出警戒ボタンを押したときに  
次のような状態になった場合

#### ○ ご注意

ループ表示灯が点滅している場合、外出警戒をセットすることができません。ループを復帰させた後に再びセットしてください。

② 受信器の外出警戒モード表示灯（赤色）が点灯していることをご確認ください。外出警戒モードで使用する送信器、有線入力センサを動作させてください。受信器は次のように動作します。

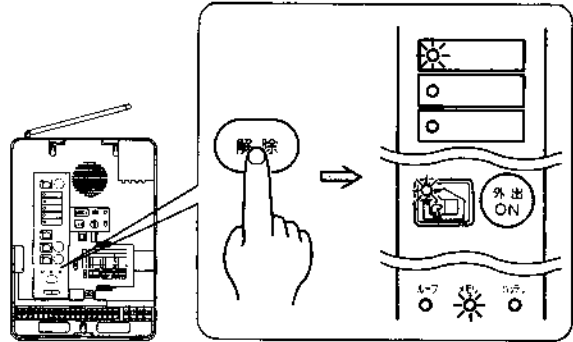
人体検知センサを動作させる場合は検知窓の前で左右に手を動かしてください。ビームセンサの場合はビームを手で遮断してください。



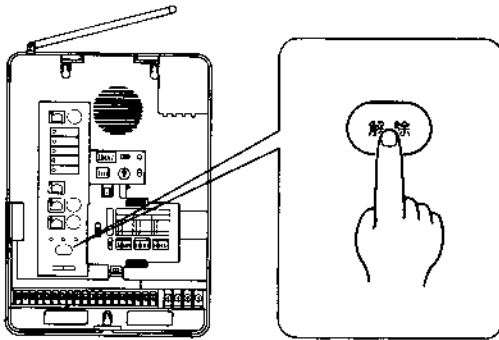
センサを動作させてから約30秒後に（警報遅延時間）注2  
ピーポーピーポーとなります。

警報音は警報出力保持タイマにより設定された時間鳴りつづけます。  
外出警戒に使用するすべてのセンサを動作させてください。

③ 解除ボタンを押してください。ピー音とともにメモリ表示灯、外出警戒モード表示灯、ゾーン表示灯が点滅します。点滅しているゾーン表示灯は動作したセンサが設置されているゾーンを示しています。（P.20参照）

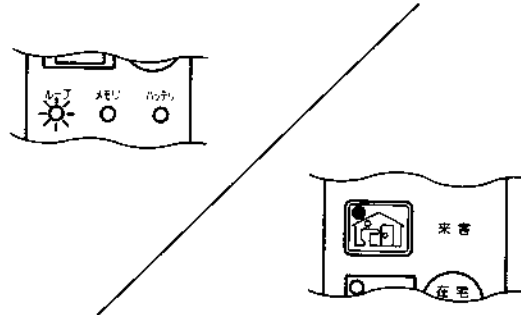


④ 再び解除ボタンを押してください。

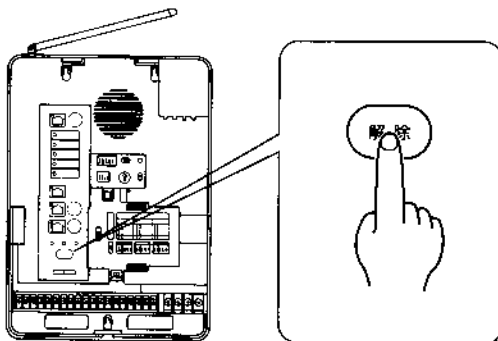


⑤ 外出警戒モードで使用している送信器、有線入力センサにループ異常があった場合はループ表示灯が点滅します。（P.18参照）

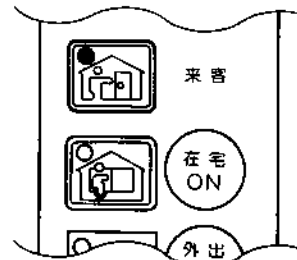
ループ異常がなければ「解除になりました」の音声と同時に防犯来客報知モード表示灯が点灯して防犯来客報知モードになります。



⑥ 解除ボタンを押してください。



⑦ 「解除になりました」の音声と同時に防犯来客報知モード表示灯が点灯して防犯来客報知モードになります。

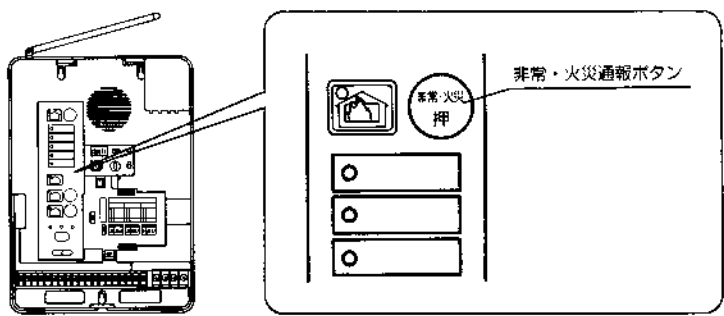


注2 警報遅延時間とは

受信器が送信器・有線入力センサの信号を受信してから警報を出力するまでの遅れ時間のことです（30秒）。送信器、有線入力センサからの信号を受信してから30秒以内に解除ボタンを押すと警報出力しません。キースイッチ・カードリーダーにより外出警戒をセットした場合には警報遅延時間ははたらかしません。

## 7-4. 非常・火災通報機能を使用する場合

- ① 非常・火災信号入力に接続されたセンサは、防犯来客報知モード、在宅警戒モード、外出警戒モードといったどのモードにおいても常時警戒していますので、火災などが起こった場合には即座に警報動作をおこないます。
- ② 受信器の操作パネル部の非常・火災通報ボタンを押すと、即座に警報動作をおこないます。（どのモードでも使用可）ただし、非常・火災通報ボタンの誤操作を防ぐために、約1秒間ボタンを押し続けないと警報動作をおこなわないようになっています。

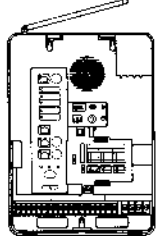

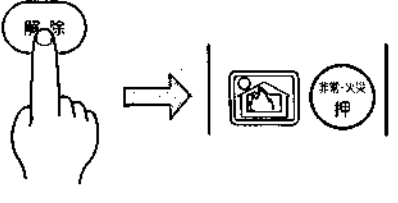


### 非常・火災用センサの動作確認

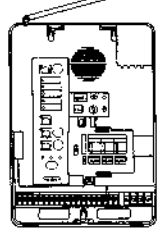

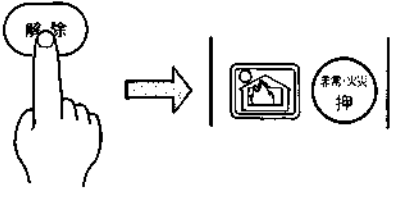
モードスイッチが“D. 非常・火災”に設定されている送信器および非常・火災入力に接続されたセンサを使用します。

#### 注意

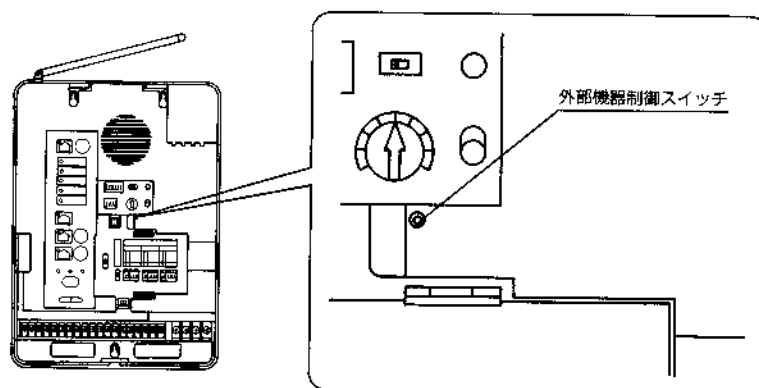
○モードスイッチの“D. 非常・火災”が設定されている送信器は“A. 来客”、“B. 在宅”、“C. 外出”が設定されていても非常・火災通報専用の送信器となります。

<p>①カバーをはずした状態で動作確認してください。その場合、非常・火災通報出力端子に接続された外部機器は動作しません。</p> 	<p>②非常・火災用の送信器、センサを動作させてください。受信器は下のように動作します。（警報動作中に解除ボタンを押すと警報動作は停止します。）</p>  <p>非常・火災表示灯 点滅保持（赤色）</p> <p>警報音 ピーポーピーポー</p> <p>（警報出力保持タイムで 設定された時間だけ鳴ります）</p>	<p>③解除ボタンを押すと、非常・火災通報表示灯が消灯します。</p> 
--	---	---

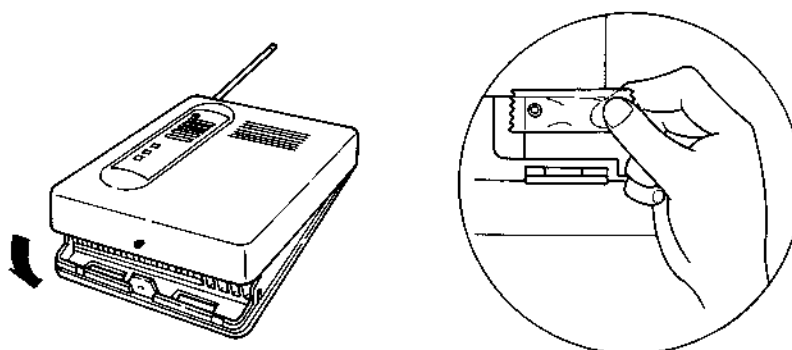
### 非常・火災通報ボタンの動作確認

<p>①カバーをはずした状態で動作確認してください。その場合、非常・火災通報出力端子に接続された外部機器は動作しません。</p> 	<p>②非常・火災通報ボタンを約1秒間押し続けてください。受信器は下のように動作します。（警報動作中に解除ボタンを押すと警報動作は停止します。）</p>  <p>非常・火災通報表示灯 点滅保持（赤色）</p> <p>警報音 ピーポーピーポー</p> <p>（警報出力保持タイムで 設定された時間だけ鳴ります）</p>	<p>③解除ボタンを押してください。非常・火災通報表示灯が消灯します。</p> 
--	---	---

## 7-5. 外部機器制御スイッチについて



このスイッチにより出力端子に接続された外部機器が制御されます。受信器のカバーをはずすと、自動的にリレー出力しない状態となりますので、出力端子に接続された外部機器は動作しません。外部機器の動作確認をしたい場合はカバーを本体に取り付けるか、スイッチをテープなどで押さえてください。



## B. ループ、メモリ、バッテリー表示灯について

ループ、メモリ、バッテリー表示灯は次のような場合に点滅します。

- ① ループ表示灯点滅 送信器および各種センサのループ異常を示しています。
- ② メモリ表示灯点滅 在宅・外出警戒中に送信器もしくは有線入力センサが動作したことを示しています。
- ③ バッテリー表示灯点滅 送信器の電池が残り少なくなってきた場合もしくは受信器のバッテリー容量が少なくなってきたことを示しています。

### B-1. ループ表示灯が点滅した場合

次のような場合にループ表示灯が点滅し、ループ異常を知らせます。同時にゾーン表示灯、モード表示灯も点滅します。

- ① 送信器から150分間スーパーバイズド送信（定時送信）が無かった場合
- ② 警戒時に使用する送信器のタンパスイッチが動作した場合
- ③ 有線入力センサの配線が不良の場合
- ④ マグネットスイッチが動作している（窓が開いている）場合

・ループ表示灯が点滅している場合は異常箇所を確認していただきループを復帰させてください。

ループ異常のまま放置されますと在宅警戒・外出警戒をセットすることができません。

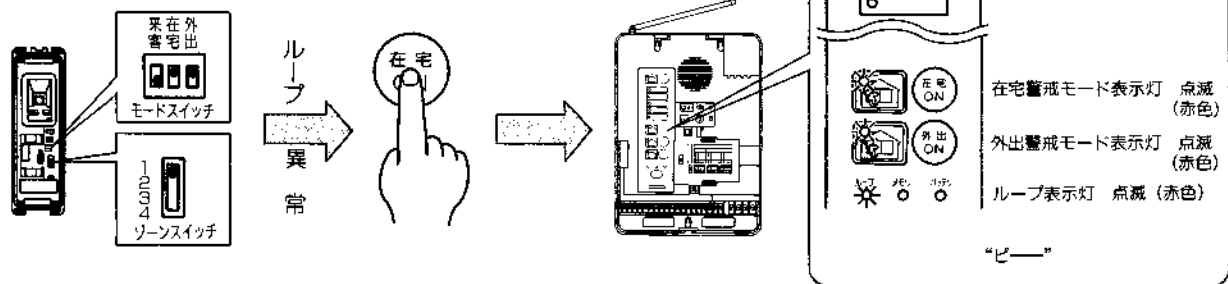
・送信器使用数設定スイッチを「スーパーバイズドOFF」の設定にしますと、送信器のループ管理はおこないません。

ループ異常が発生した場合、受信器は次のように表示します。

例1

送信器の設定

- ゾーンスイッチ “ゾーン1” が設定
- モードスイッチ “B. 在宅”、“C. 外出” が設定



### ループを復帰させる方法

上記①～④の原因によりループ異常が起こっている場合は下記のようにすればループが復帰します。

- ①の場合 送信器からのスーパーバイズド送信が無い原因（送信器の電池切れ、電波が受信器に届いていないなど）を調べて受信器に電波が届くようにしてください。受信器に電波が届くとループ復帰となります。
- ②の場合 送信器の場合にはカバーを取り付けるなどしてタンパスイッチが動作しないようにした後に、受信器に電波を送信してください。ループは復帰します。
- ③の場合 有線入力センサの配線を修復してください。修復した時点でループ復帰となります。
- ④の場合 マグネットスイッチが取り付けられている窓を閉めてください。その時点でループ復帰となります。

#### ご注意

非常・火災用送信器がループ異常となった場合は受信器のカバーをはずした後にループを復帰させ受信器に電波を送信してください。カバーをはずさないで外部機器制御スイッチがはたらかないので、非常・火災通報出力端子に接続された外部機器が動作します。

受信器は送信器の設定（モード、ゾーン）を表示します。ループの点検は受信器の表示灯を参考にしておこなってください。

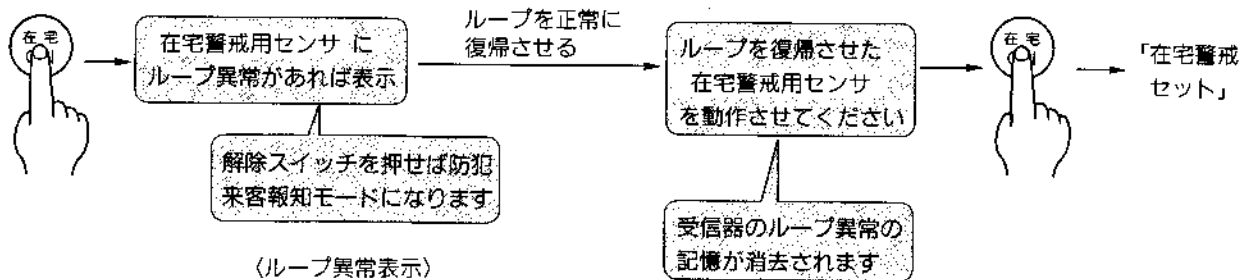
ループ異常が発生した場合、受信器はループ異常を記憶します。受信器はつぎのような操作をおこなった場合に記憶したループ異常を表示します。ループ復帰後、送信器から正常な信号を送信してください。ループ異常の記憶は消去されます。

- ① 在宅警戒をセットしようとしたとき（モードスイッチが“B. 在宅”に設定されている送信器もしくはゾーン3、ゾーン4の有線入力センサのループ異常を表示）
- ② 在宅警戒を解除しようとしたとき（モードスイッチが“B. 在宅”に設定されている送信器もしくはゾーン3、ゾーン4の有線入力センサのループ異常を表示）
- ③ 外出警戒をセットしようとしたとき（モードスイッチが“C. 外出”に設定されている送信器もしくはゾーン3、ゾーン4の有線入力センサのループ異常を表示）
- ④ 外出警戒を解除しようとしたとき（モードスイッチが“C. 外出”に設定されている送信器もしくはゾーン3、ゾーン4の有線入力センサのループ異常を表示）
- ⑤ 非常・火災用のセンサのループ異常は即座に表示します。

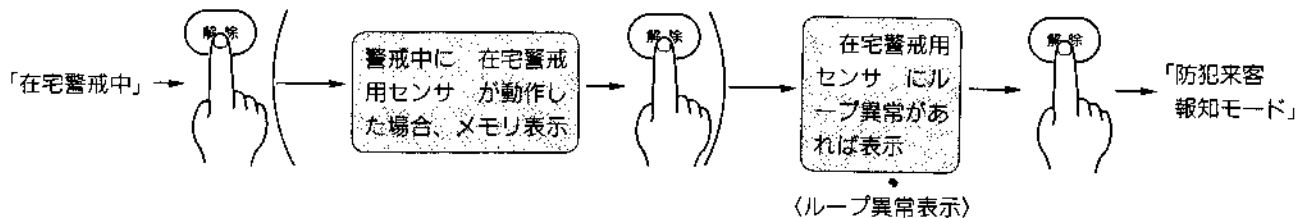
**ご注意**

- 防犯来客報知用センサのループ異常は表示しません。
- ループ異常表示中に使用できるボタンは「解除ボタン」「非常・火災通報ボタン」の2つです。

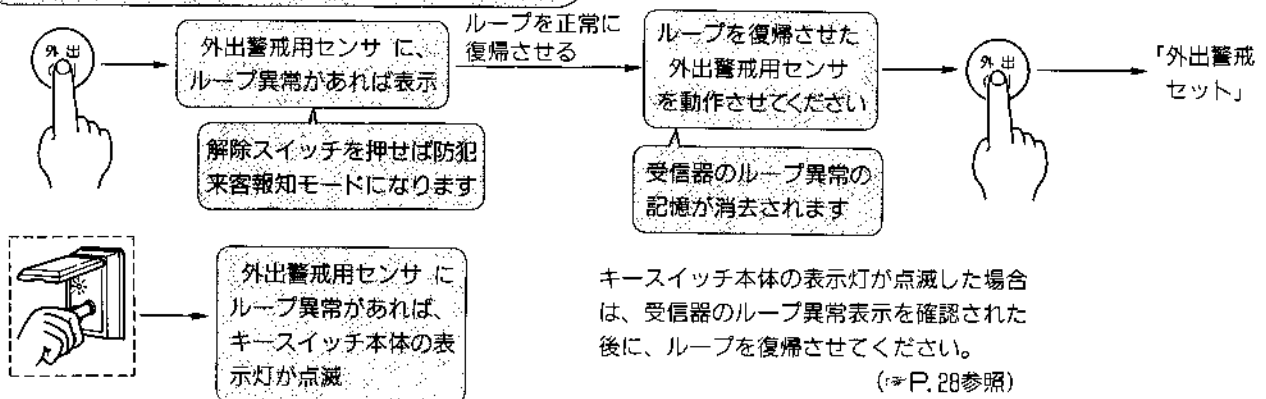
**① 在宅警戒をセットしようとしたとき**



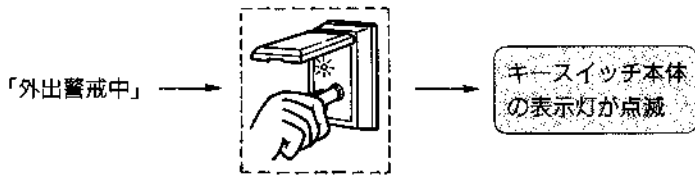
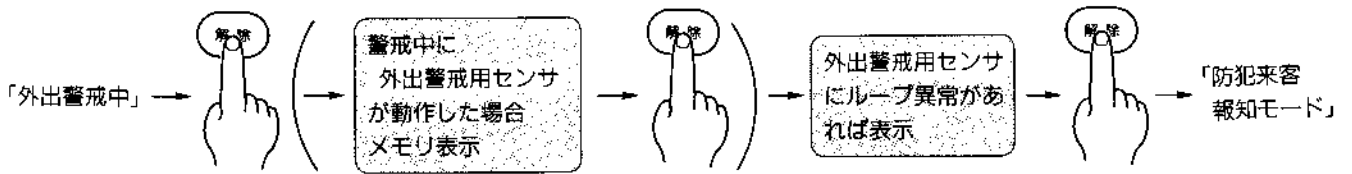
**② 在宅警戒を解除しようとしたとき**



**③ 外出警戒をセットしようとしたとき**



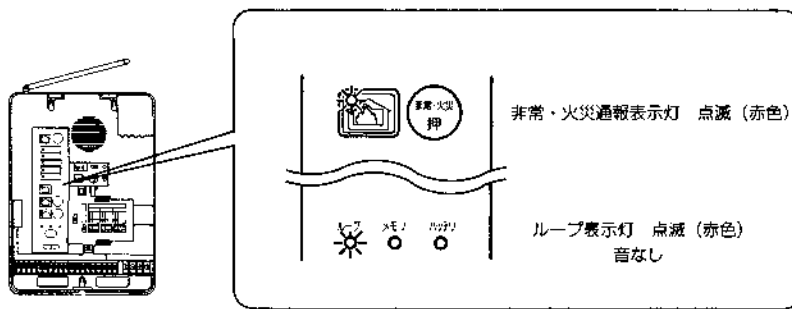
#### ④ 外出警戒を解除しようとしたとき



キースイッチ本体の表示灯が点滅しているときは  
 ○メモリを表示している  
 ○ループ異常を表示している  
 のどちらかを示していますがキースイッチでは判別不可能ですので受信器でご確認ください

#### ⑤ 非常・火災用センサのループ異常表示

非常・火災用送信器からスーパーバイズド送信が150分間なかった場合のみループ異常（非常・火災通報表示灯とループ表示灯点滅）を表示します。  
 非常・火災用送信器のタンパが動作した場合には、受信器は警報動作をおこないません。

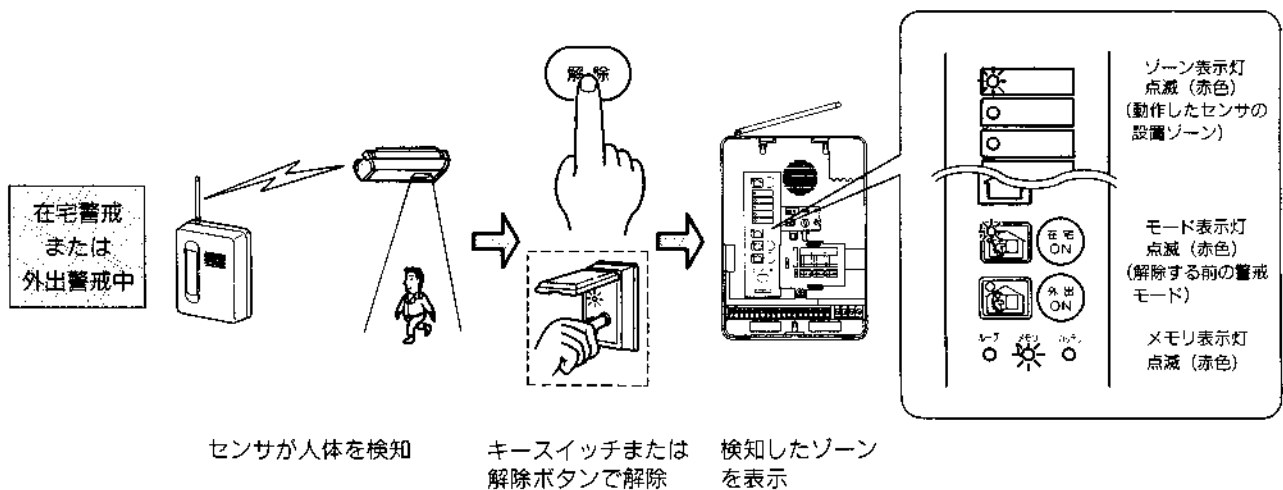


#### ⑤-2. メモリ表示灯が点滅した場合

次のような場合にメモリ表示灯が点滅します。

- ① 在宅警戒中に在宅警戒用センサが人体などを検知していた場合に警戒を解除すると点滅します。
- ② 外出警戒中に外出警戒用センサが人体などを検知していた場合に警戒を解除すると点滅します。

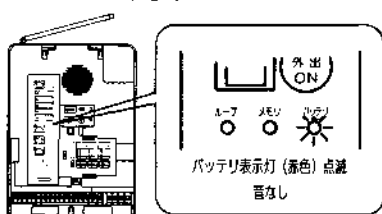
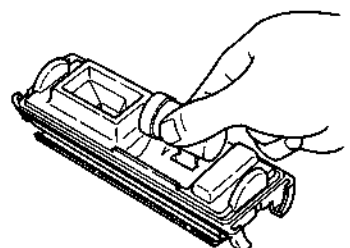

メモリ表示灯以外にもゾーン表示灯（検知したセンサが設置されているゾーン）、モード表示灯（センサが検知したときのモード）も点滅します。



### 8-3. バッテリー表示灯が点滅した場合

送信器の電池が残り少なくなってきた場合、もしくは受信器のバッテリー容量が少なくなってきた場合にバッテリー表示灯が点滅します。

#### 送信器の電池が残り少なくなってきた場合(点滅間隔が短い、約0.3秒の点滅)

<p>① 送信器の電池が残り少なくなると、受信器のバッテリー表示灯(赤色)が点滅し続けます。(この状態でも送信器はしばらくの間動作します。)</p> 	<p>② 送信器の電池を交換してください。</p> 	<p>③ 解除ボタンを5秒間押し続けてください。バッテリー表示灯が消灯します。</p> 
--	---	---

電池の残り少ない送信器からの信号を受信して、警報動作を行なうと、警報音、チャイム音ともに1オクターブ低い音になります。

受信器の表示により、電池の残り少ない送信器が設置されているゾーンがわかります。

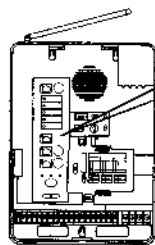
○解除ボタン、在宅警戒ボタン、外出警戒ボタンを押してください。

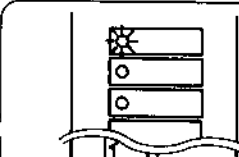
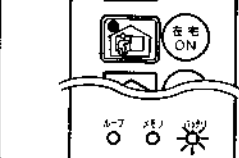
受信器はモード設定時にそのモードで使用されるセンサの設置されているゾーンを5秒間点灯(緑色)させます。もし、送信器の電池が残り少ないとゾーン表示灯が5秒間点滅(緑色)しますので、そのゾーンに設置されている送信器の電池を交換してください。

また、電池が残り少なくなってきた送信器が電波を送信すると、送信器の表示灯が点滅しますので、1つのゾーンに複数の送信器が設置されている場合には、表示灯が点滅する送信器をみつけて電池を交換してください。

例

ゾーン1に設置されている在宅警戒用送信器の電池が残り少ない。



	<p>ゾーン1表示灯 5秒間緑色点滅</p>
	<p>在宅警戒モード表示灯 赤色点滅</p>
	<p>バッテリー表示灯 赤色点滅</p>

解除ボタン、在宅警戒ボタン、外出警戒ボタンを押して、ゾーン表示灯(緑色)が点滅するモードを探してください。

#### ご注意

送信器の電池を交換しても、バッテリー表示灯は消灯しません。電池交換をするしないにかかわらず解除ボタンを5秒間押し続ければバッテリー表示灯は消灯します。

#### 受信器のバッテリー容量が少なくなってきた場合(点滅間隔が長い、約2秒の点滅)

受信器は、停電補償用電源としてバッテリーを搭載しています。(P. 30, 13章参照) そのバッテリーの容量が少なくなってくるとバッテリー表示灯が、約2秒の間隔で点滅します。

#### ご注意

停電等で、バッテリーの容量が少なくなっても、主電源(AC100V)が復帰すると、バッテリーへの充電を行い、充電が完了するとバッテリー表示灯の点滅は消えます。

主電流の復帰後、約2日経っても点滅し続ける場合はバッテリーを交換して下さい。

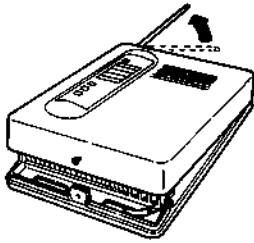
(P. 30, 13章参照)



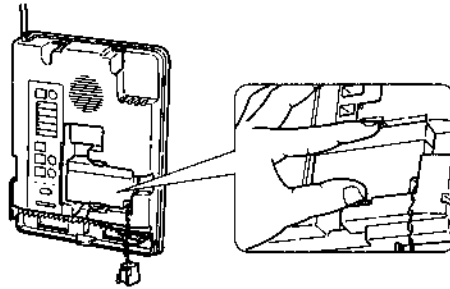
## 9. 警報出力設定部について

警報出力設定部はバッテリーの下部にあります。無電圧接点リレー出力①、②、③は警戒時に受信器が警報動作をおこなった場合に出力します。

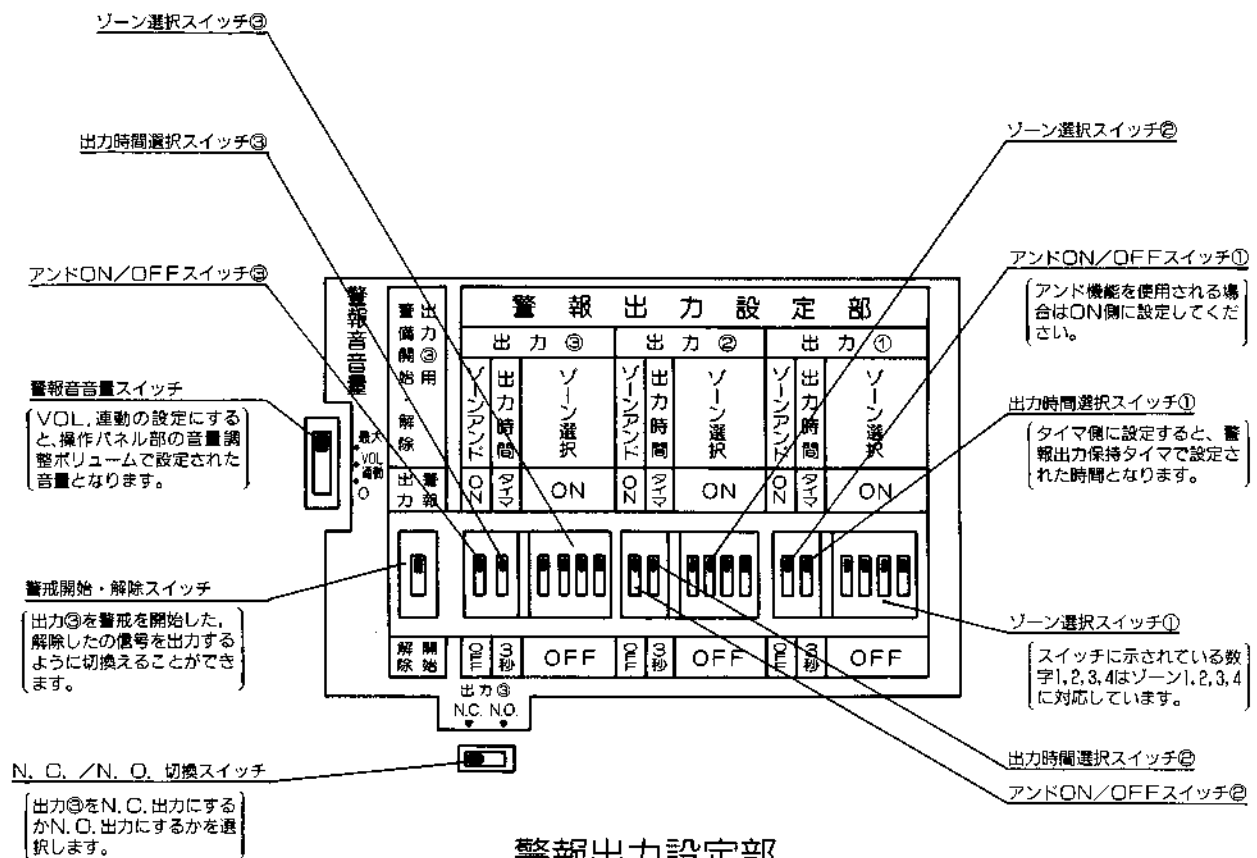
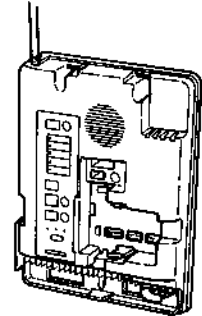
- ① アンテナを立てて、ロックネジをゆるめ、カバーをはずしてください。



- ② 本体とバッテリーが接続されているコネクタをはずした後に、バッテリー（予備電源）を本体からはずしてください。



- ③ 各スイッチを設定してください。



警報出力設定部

## 9-1. ゾーンアンド機能とは

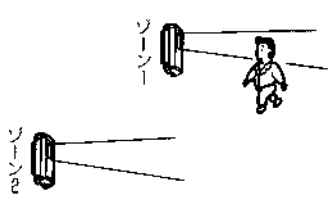
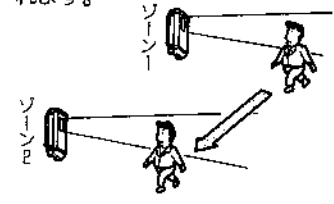
ゾーンアンド機能とは複数のゾーン（例えばゾーン1, ゾーン2）にそれぞれ設置されているセンサが連続的に人体を検知したときに警報を出力する機能のことです。

例えばゾーン1に設置したセンサが落ち葉の影響で誤報するといった場合にゾーン1とゾーン2でゾーンアンド機能を設定してください。

その場合、ゾーン1のセンサが誤報しても受信器は警報を出力しません。侵入者をゾーン1のセンサが検知しても警報は出力ませんが、続けてゾーン2のセンサも侵入者を検知すると警報が出力されます。

アンド機能を使用する場合は、人が通りそうな場所に連続して設置してください。

例) ゾーン1とゾーン2にセンサ設置。ゾーン1とゾーン2でアンド機能設定。

<p>① ゾーン1のセンサが人体を検知しただけでは警報は出力されません。</p> 	<p>② ゾーン1のセンサが人体を検知した後一定時間内（アンド時間内）にゾーン2のセンサも人体を検知するとゾーンアンド成立となり警報出力されます。</p> 	<p><b>【ご注意】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ アンド時間とはゾーンアンド成立するまでの時間のことです。(P.24参照)</li> <li>○ ゾーンアンド機能に方向性はありません。</li> <li>① ゾーン1センサ検知→ゾーン2センサ検知</li> <li>② ゾーン2センサ検知→ゾーン1センサ検知</li> <li>①、②ともにゾーンアンド成立となります。</li> </ul>
--	---	---

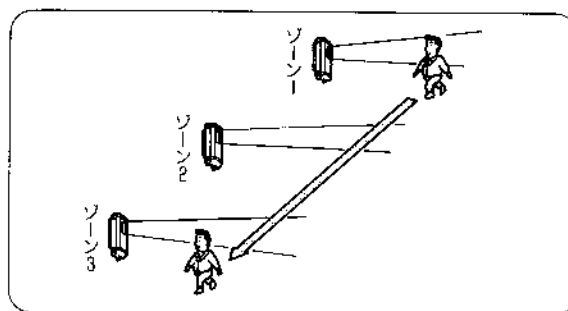
○ ゾーンアンド機能は、ゾーン1～4のどのゾーンとの組み合わせでも設定可能です。

例) ① ゾーン1とゾーン2    ② ゾーン1, ゾーン2, ゾーン3    ③ ゾーン1, ゾーン2, ゾーン3, ゾーン4  
 ④ ゾーン1とゾーン4    etc

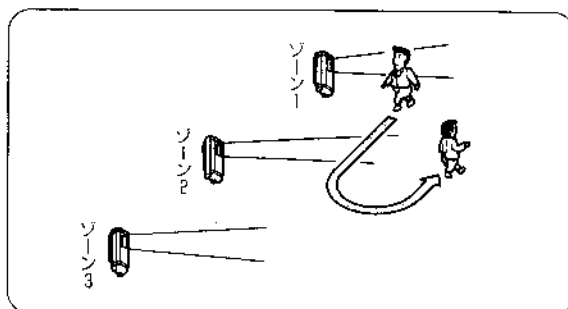
○ ゾーンアンドが成立するには、ゾーンアンドを設定したゾーンすべてで人体が検知されなければなりません。

例) ゾーン1, ゾーン2, ゾーン3でゾーンアンド設定。

ゾーン1で人体を検知→ゾーン2で人体を検知→ゾーン3で人体を検知  
 (ゾーン3で人体を検知→ゾーン2で人体を検知→ゾーン1で人体を検知)  
 (ゾーンの順番に関係なくゾーンアンドは成立します。)



ゾーンアンド成立する

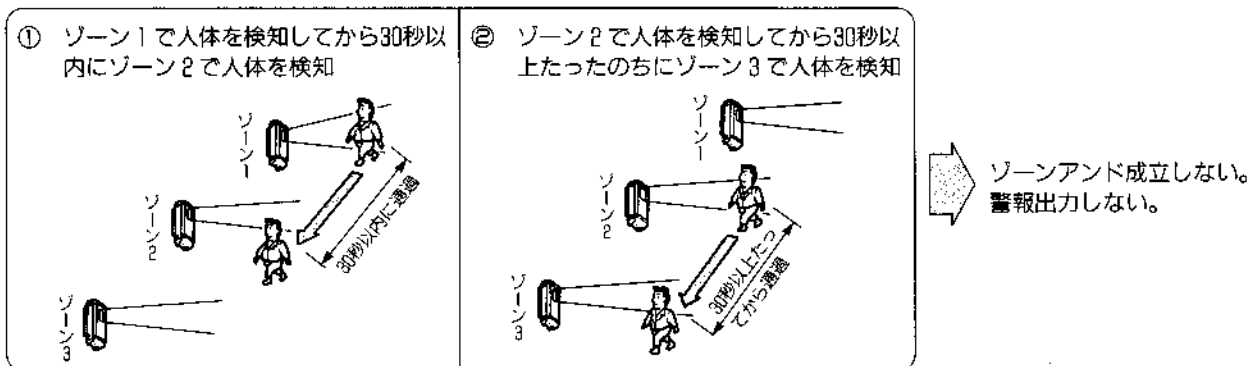
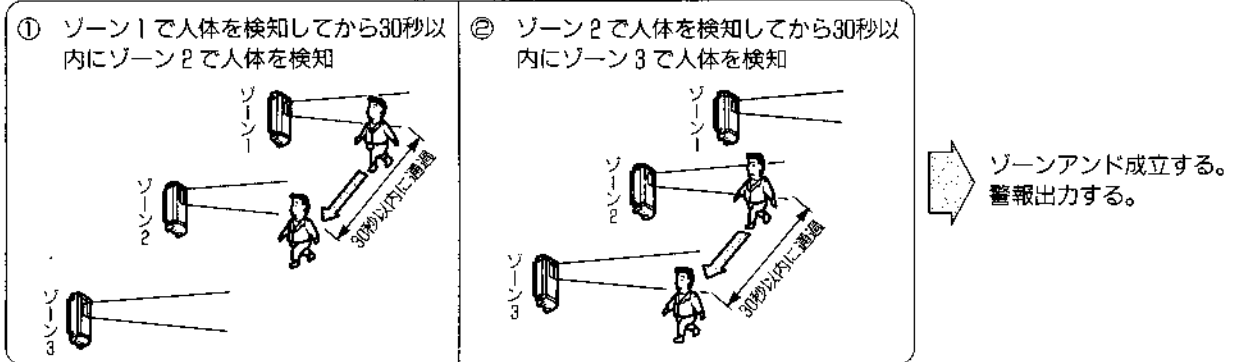


ゾーンアンド成立しない

## 9-2. アンド時間について

アンド時間とは、ゾーンアンド成立するまでの時間のことです。設定されたアンド時間内にゾーンアンド成立しなければ警報は出力されません。受信器で設定できるアンド時間は30秒と60秒の2種類です。

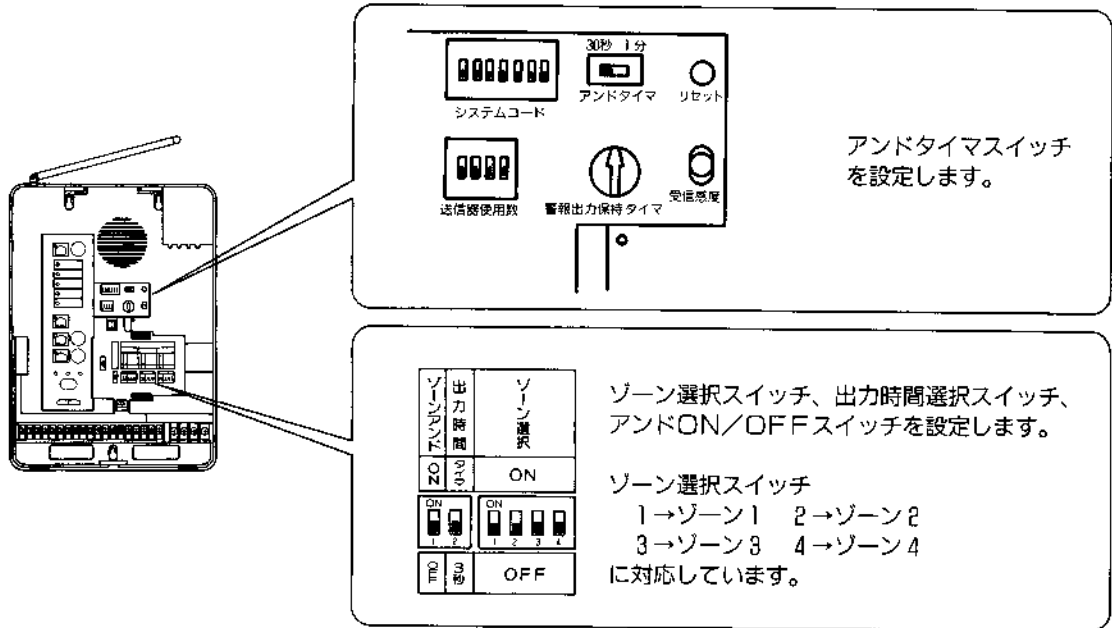
○ゾーン1、ゾーン2、ゾーン3でゾーンアンド機能を設定、アンド時間を30秒に設定



ゾーン1、ゾーン2、ゾーン3のすべてのゾーンで人体を検知しても設定したアンド時間内にセンサが人体を検知しなければゾーンアンドは成立しません。

## 9-3. アンドON/OFFスイッチ

アンドON/OFFスイッチをON側にすると、ゾーンアンドが設定されます。  
スイッチをOFF側にするとゾーンアンドは設定されません。

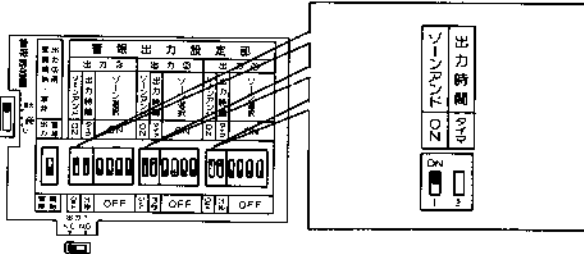


### 9-3-1. ゾーンアンド機能を使用した警報出力〜アンドON/OFFスイッチON側設定〜

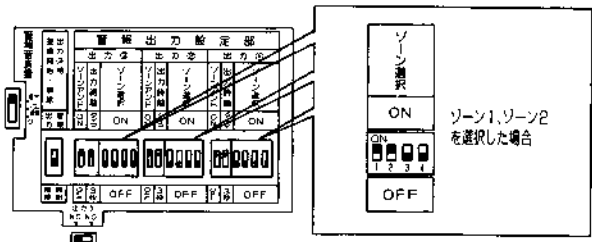
アンドON/OFFスイッチをON側に設定しますとゾーンアンド機能がはたらきます。

#### 〈設定方法〉

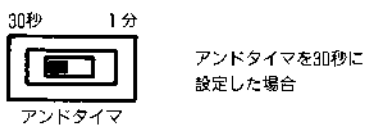
- ① ゾーンアンドが成立したときに出力する無電圧接点リレー出力のアンドON/OFFスイッチをON側にしてください。



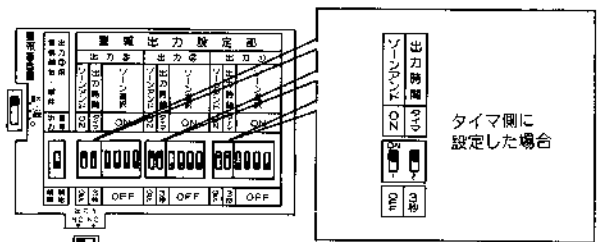
- ② ゾーン選択スイッチにより、ゾーンアンド機能をはたかすゾーンを選択してください。



- ③ アンド時間をアンドタイマスイッチにより設定してください。アンド時間は無電圧接点リレー出力1、2、3共通となります。



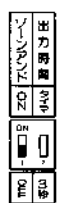
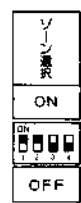
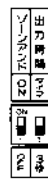
- ④ 出力時間選択スイッチにより、接点出力時間を設定してください。タイマ側になると警報出力保持タイマで設定された時間となります(警報音と同じ時間出力されます)。



### 9-3-2. ゾーンアンド機能を使用しない警報出力（アンドON/OFFスイッチをOFF側設定）

ゾーンアンド機能ははたしません。在宅・外出警戒時に、ゾーン選択スイッチにより設定されたゾーンからの信号を受信するとリレー出力します。

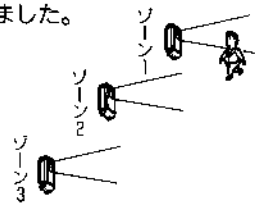
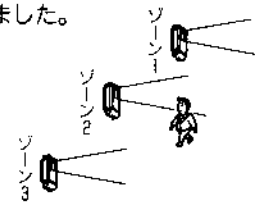
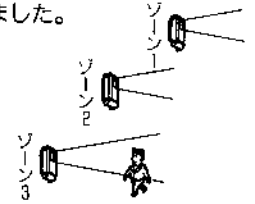
#### 〈設定方法〉

<p>① 使用する無電圧接点リレー出力の アンドON/OFFスイッチをOFF側 にしてください。</p> 	<p>② ゾーン選択スイッチによりどのゾ ーンのセンサが人体を検知すれば リレー出力するかを設定します。</p>  <p>ゾーン1,ゾーン2を選択 した場合</p>	<p>③ 出力時間選択スイッチにより出力 時間を設定してください。タイマ 側にすると警報出力保持タイマで 設定された時間となります（警報 音と同じ時間出力されます）。</p> 
--	---	---

#### 次のような設定にしたい場合

- ゾーンアンド機能は必要ない
- ゾーン1に侵入者があった場合にリレー出力する。
- ゾーン3に侵入者があった場合、リレー出力する必要はない。  
(ゾーン1、2、3には警戒用センサが設置されている。)
- 無電圧接点リレー出力1を使用する。
- ゾーン2に侵入者があった場合にもリレー出力する。

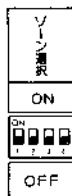
出力①	
ゾーンAND	ゾーン選択
ON	ON
DN 1 2	ON 1 2 3 4
DN 1 2 3	OFF

<p>① ゾーン1のセンサが人体を検知 しました。</p>  <table border="1"> <tr> <td>警報音</td> <td>ピーポーピーポー</td> </tr> <tr> <td>リレー出力</td> <td>出力します</td> </tr> </table>	警報音	ピーポーピーポー	リレー出力	出力します	<p>② ゾーン2のセンサが人体を検知 しました。</p>  <table border="1"> <tr> <td>警報音</td> <td>ピーポーピーポー</td> </tr> <tr> <td>リレー出力</td> <td>出力します</td> </tr> </table>	警報音	ピーポーピーポー	リレー出力	出力します	<p>③ ゾーン3のセンサが人体を検知 しました。</p>  <table border="1"> <tr> <td>警報音</td> <td>ピーポーピーポー</td> </tr> <tr> <td>リレー出力</td> <td>出力しない</td> </tr> </table>	警報音	ピーポーピーポー	リレー出力	出力しない
警報音	ピーポーピーポー													
リレー出力	出力します													
警報音	ピーポーピーポー													
リレー出力	出力します													
警報音	ピーポーピーポー													
リレー出力	出力しない													

ゾーン選択スイッチにより設定されたゾーンのセンサが人体を検知するとリレー出力します。

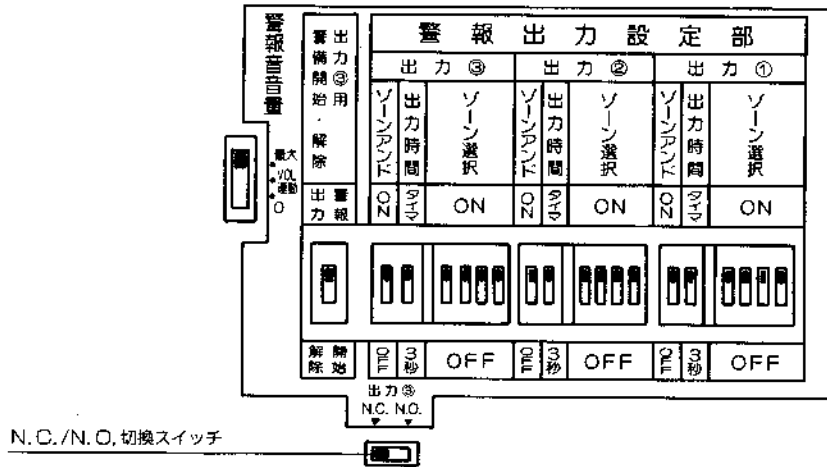
### 9-3-3. 無電圧接点リレー出力を使用しない場合

使用しない無電圧接点リレー出力のゾーン選択スイッチをすべてOFF側にするとリレー出力しません。



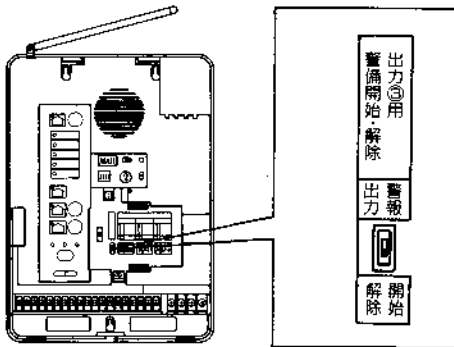
## 9-4. NC/N.O. 切換スイッチ

無電圧接点リレー出力③のリレー接点を切り換えます。  
使用用途に応じてN.C.、N.O.を選択してください。



## 10. 警備開始・解除スイッチについて

スイッチを「開始・解除」側に設定しますと、ワイヤレスセキュリティシステムが設置されている家庭や店舗が「警戒を開始した」「警戒を解除した」といったそれぞれの状態を警備会社に知らせる専用出力となります。

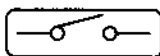


- 無電圧接点リレー出力③専用のスイッチです。スイッチを開始・解除側にしますとゾーン選択スイッチ③、アンドON/OFFスイッチ③、出力時間選択スイッチ③は使用できません。
- 警報出力側にしますと「9. 警報出力設定部について」(P. 22参照)で説明した機能が使用できます。

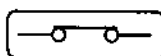
### 開始・解除側にした場合のリレー接点

○N.C./N.O. 切換スイッチを「N.O.」に設定した場合

解除時 オープン

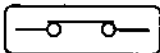


警戒時 クローズ

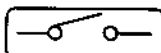


○N.C./N.O. 切換スイッチを「N.C.」に設定した場合

解除時 クローズ



警戒時 オープン

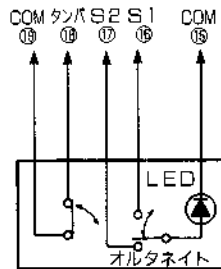


# 11. キースイッチ・カードリーダーについて

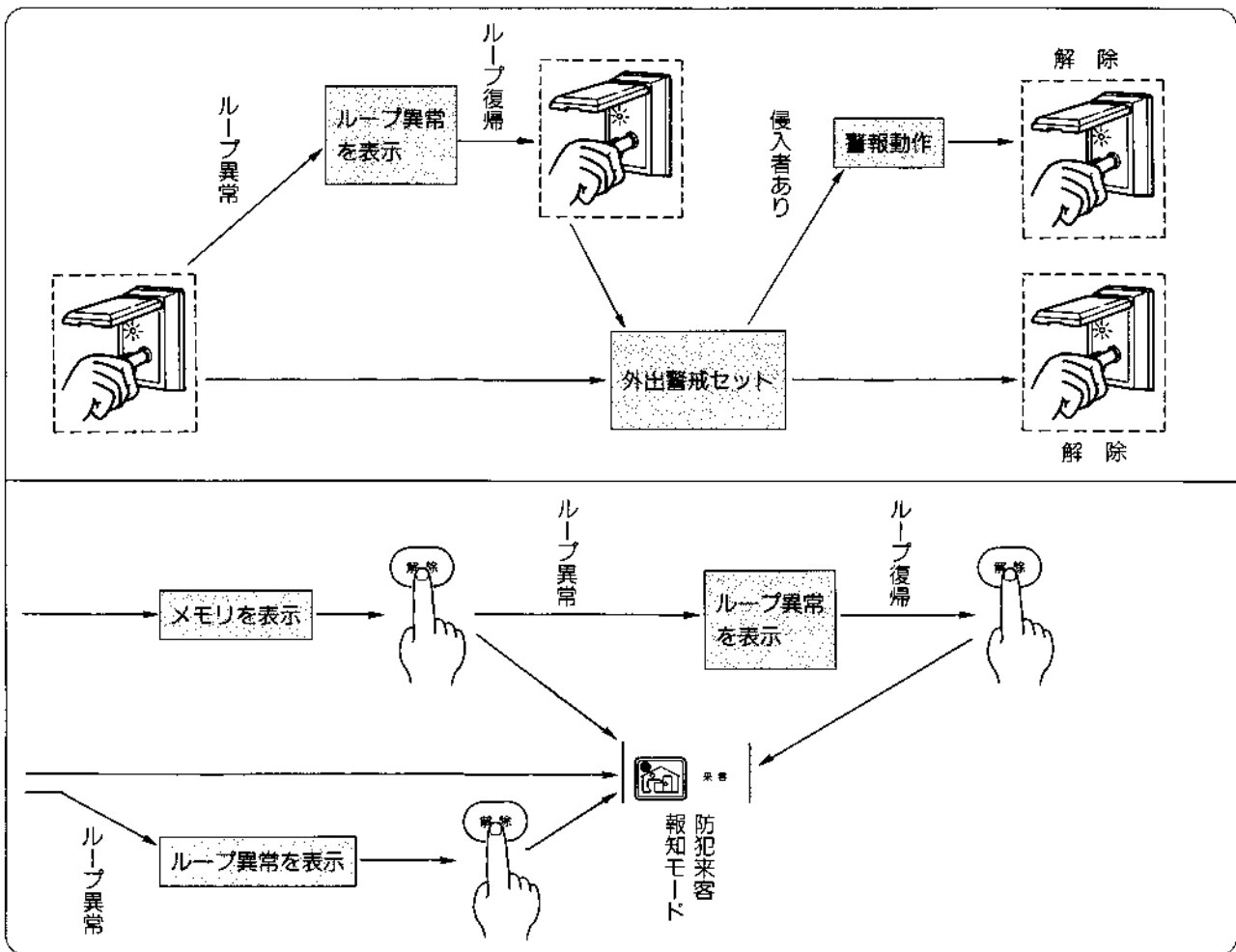
キースイッチ・カードリーダーを使用することにより次のような操作ができます。

- ① 外出警戒のセット、解除を遠隔操作できます。
- ② 在宅警戒の解除を遠隔操作できます。

WCB-400には「オルタネイト型」のキースイッチ・カードリーダーをご使用ください。  
キースイッチ接続の際は、端子間の短絡金具をはずして接続してください。(P.7参照)



外出警戒モードセットから解除までの流れ図

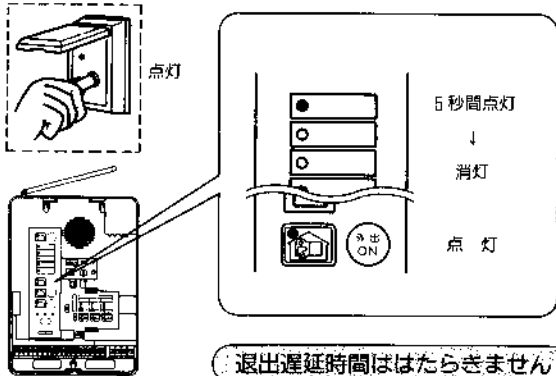


## 11-1. キースイッチにより外出警戒をセット・解除する場合

- ① キースイッチを操作して外出警戒をセットしてください。キースイッチ本体の表示灯が点灯します。同時に受信器の外出表示灯が点灯します。

### スーパーバインド機能を使用している場合

外出警戒モードで使用する送信器、有線入力センサが設置されているゾーンの表示灯（緑色）が5秒間点灯→消灯します。



キースイッチを操作したときに



次のような状態になった場合

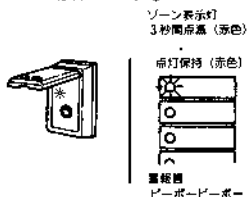
- キースイッチ本体の表示灯が点滅している場合

送信器および有線入力センサのループ（回線）に異常が発生していることを示しています。受信器の表示灯によりループ異常表示を確認してから送信器および有線入力センサのループを点検してください。

### ご注意

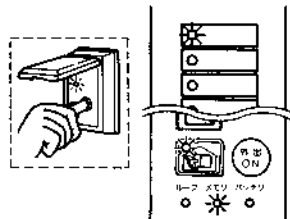
- キースイッチ本体の表示灯が点滅している場合は外出警戒をセットすることができません。
- キースイッチにより外出警戒をセットすると警報遅延時間ははたらきませんので、解除する場合は必ずキースイッチにより解除してください。

- ② キースイッチ本体の表示灯が点灯していることをご確認ください。モードスイッチが外出に設定されている送信器および警戒用有線入力センサを動作させてください。受信器は次のように動作します。

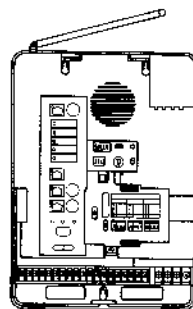


警報遅延時間ははたらきません

- ③ キースイッチを操作して外出警戒を解除してください。キースイッチ本体の表示灯が点滅します。受信器はメモリ表示灯、外出表示灯、ゾーン表示灯が点滅します。



- ④ キースイッチではこれ以上の操作はできませんので、受信器の操作パネル部で操作してください。（P.14参照）



- ⑤ 外出警戒時に送信器および有線入力センサが動作しなかった場合、キースイッチの操作により解除するとキースイッチ本体の表示灯は消灯し、受信器は防犯来客報知モードとなります。

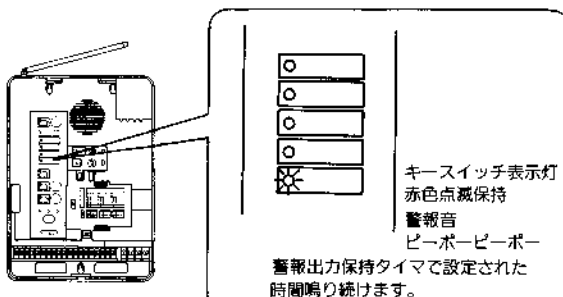


・キースイッチにより外出警戒をセットしますと退出遅延時間、警報遅延時間ははたらきませんので、外出警戒を解除する場合は、キースイッチの操作により解除してください。もし受信器の解除ボタンにより解除しますと受信器にたどり着くまでにセンサに検知された場合、即座に警報を発しますのでご注意ください。

## 11-2. 受信器のキースイッチ表示灯が点滅していた場合

キースイッチのタンパに異常が発生した場合、即座に警報動作をおこないます。

- ① キースイッチのタンパに異常が発生した場合、受信器は下のように動作します。



- ② キースイッチのタンパを点検した後に正常に復帰させてください。復帰した時点でキースイッチ表示灯は消灯します。





## 12. 受信感度表示灯について

送信器からの電波の受信状態をあらわします。

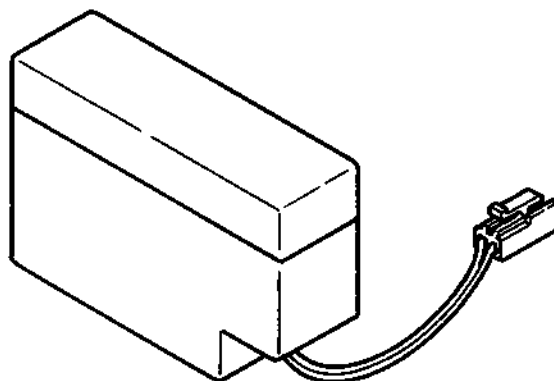


送信器からの電波を受信したときに

- |         |    |   |                      |
|---------|----|---|----------------------|
| 受信感度表示灯 | 点灯 | → | 十分な受信感度が得られている。      |
| 受信感度表示灯 | 点滅 | → | 受信はしているが、受信感度に余裕がない。 |
| 受信感度表示灯 | 消灯 | → | 受信していない。             |

## 13. 非常用電源（バッテリー）について

- 受信器は非常用の電源として鉛蓄電池を搭載しています。  
停電等により電源が一時的に切れたとしてもその後約20分間は動作します。
- バッテリーの寿命は3年です。3年以上使用されますと、停電補償時間が短くなりますのでバッテリーを交換してください。交換の際は、お買い上げの販売店もしくは弊社までお申しつけください。



(特注品)

# 14. WCB-400の操作説明

## 防犯来客報知モードのセット



家庭や店舗などに訪問者があった場合チャイム音によりお知らせします。

**解除ボタンを押してください。**

(防犯来客報知モード設定用のボタンはありません。) 防犯来客報知モード表示灯が点灯します。



## 在宅警戒モードのセット、解除

就寝時など家庭や店舗内にいながら部分的に警戒したい場合に設定してください。

【在宅警戒セット】



**在宅警戒ボタンを押してください。**

在宅警戒モード表示灯が点灯します。

【在宅警戒解除】



**解除ボタンを押してください。**

警戒中に侵入者があった場合にはメモリ表示灯が点滅します。

## 外出警戒モードのセット、解除

外出などをされる時、無人状態になる家庭や店舗などを警戒したい場合に設定してください。

【外出警戒セット】



**外出警戒ボタンを押してください。**

退出遅延時間がはたります。ピピピピという音が約60秒間なり続けます。この音がなりやむまで送信器の検知エリアの外に出てください。

外出警戒モード表示灯が点灯します。

【外出警戒解除】



**解除ボタンを押してください。**

送信器からの信号を受信してから動作するまで約30秒の遅れ時間があります。外出から帰ってきて送信器の検知エリアを通過しても、この遅れ時間内に警戒を解除すれば警報音は出ません。

警戒中に侵入者があった場合にはメモリ表示灯が点滅します。

## 非常・火災通報ボタンの使い方



非常事態や火災が発生した場合にご使用ください。

**非常火災通報ボタンを1秒間押し続けてください。**

## 警戒中の警報動作について

在宅警戒もしくは外出警戒中に侵入者があった場合に警報音(ピーポーピーポー)が鳴ります。

【警報動作を停止したい場合】



**解除ボタンを押してください。**

## メモリー表示灯の点滅

在宅警戒もしくは外出警戒中に

ループ メモリ バッテリ **侵入者があったことを示しています。**

同時にゾーン表示灯も点滅します。点滅しているゾーンに設置されているセンサーが動作したことを示しています。

【メモリー表示灯の点滅を消したい場合】



**解除ボタンを押してください。**

## ループ表示灯の点滅

送信器もしくは有線入力センサーの

ループ メモリ バッテリ **ループ(回線)に異常が発生していることを示しています。**

送信器のフタが開いていないか、もしくはマグネットスイッチを使用されている場合は窓が開いていないかを確認してください。また送信器の電波が届いていない可能性もあります。

【ループ表示灯の点滅を消したい場合】



**解除ボタンを押してください。**

## バッテリー表示灯の点滅

点滅間隔が短い場合は送信器の

ループ メモリ バッテリ **電池が残り少なくなっているの  
でお買い上げの販売店までお申し付けください。**

点滅間隔が長い場合は受信器の

**電池容量が少なくなっている。**

電源が復帰してバッテリーが充電されるのを待ってください。

【バッテリー表示灯を消したい場合】



**解除ボタンを5秒間押し続けてください。**

## 15. 異常時の点検について

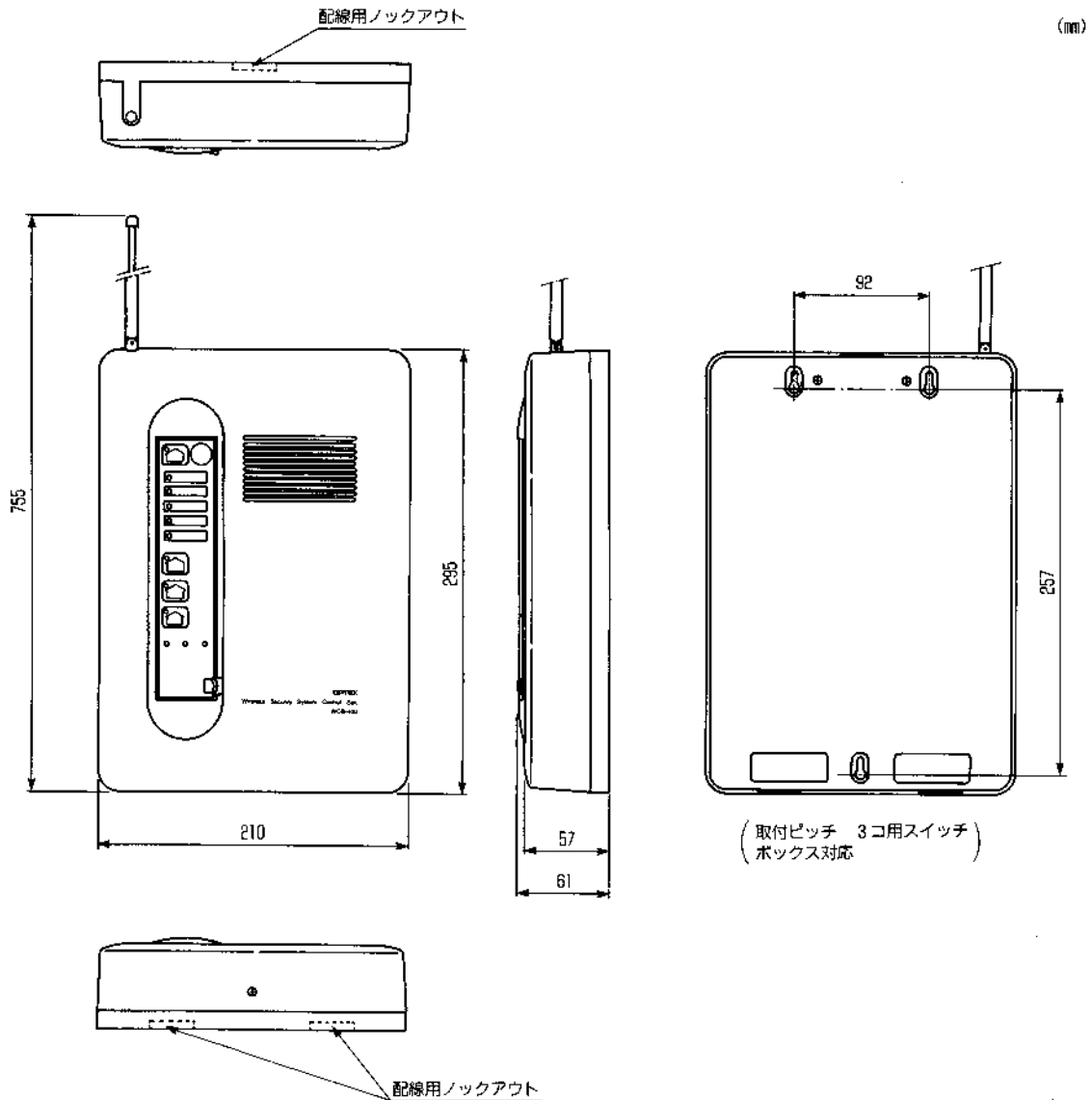
状 態	原 因	点 検 と 処 置
外部への連絡を行わない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動通報装置は動作していますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受信器と自動通報装置の接続が正しく行えているか確認して下さい。</li> </ul>
モード表示灯が点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送信器の登録が完了していない。 (スーパーバイズド機能使用の場合)</li> <li>・電源が配線不良になっている。</li> <li>・ブレーカーが作動している。 (定格電源 (AC100V, 50/60Hz) を オーバーした電源が供給されるとブ レーカーが作動します。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送信器の登録を完了してください。 (☞P. 10参照)</li> <li>・確実に電源線を接続してください。</li> <li>・定格電源がオーバーしないようにしてくだ さい。ブレーカースイッチを押せば復帰し ます。</li> </ul>
非常・火災ボタンを押しても 警報動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常・火災ボタンを1秒間押しつづけてい ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常・火災ボタンを約1秒間押しつづける と警報動作します。</li> </ul>
警報出力およびモード表示灯 の点滅がとまらない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警報出力保持タイマが5分に設定されてい る。</li> <li>・センサエリア内で検知物が静止あるいは動 いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約5分間警報はなり続けます。約3秒～5 分の間で調整してください。</li> <li>・エリア内から検知物を移動させてください。</li> </ul>
送信器が動作しているのに受 信器が動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送信器のモード設定が違う。</li> <li>・送信器使用数設定スイッチの設定が違う。</li> <li>・送信器と受信器のシステムコードが一致し ていない。</li> <li>・送信器と受信器の間に電波をさえぎる物 (鉄筋コンクリート、金属製の遮断物) があ る。</li> <li>・ロッドアンテナがいっぱいまで伸びていな い。</li> <li>・送信器の登録状態である。</li> <li>・送信器・受信器の間の距離が100m以上で ある。</li> <li>・受信器が異常動作している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送信器のモードスイッチをご確認ください。 例えば受信器で防犯来客報知モードが設定さ れている場合、防犯来客報知用センサ以外は 使用できません。</li> <li>・送信器の使用台数とスイッチの設定台数を 一致させてください。</li> <li>・システムコードをご確認のうえ、同じコー ドに設定してください。(送信器の8つ目 のスイッチはON固定)</li> <li>・電波をさえぎる物をさけて設置し、電波が 届くようにしてください。</li> <li>・いっぱいまで伸ばしてください。</li> <li>・送信器の登録を完了してください。</li> <li>・100m以内でご使用ください。(ただし、 周囲の状況により100m以内でも送信器の 電波を受信しないことがあります。受信感 度表示灯の状態(☞P. 30参照)を確認し ながら設置してください。)</li> <li>・リセットスイッチを押してください。 (☞P. 5参照)</li> </ul>
外部警報器が作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゾーン選択スイッチが設定されていない。</li> <li>・ゾーン選択スイッチにより選択したゾーン が違う。</li> <li>・アンドON/OFFスイッチがONになっ ている。</li> <li>・配線不良になっている。</li> <li>・電源出力端子に接続されている外部機器の 電源容量がオーバーしていませんか。</li> <li>・外部機器制御スイッチがはたらいている。 (カバーをはずしていると自動的にスイッ チがはたらきます。)</li> <li>・警報出力設定部のスイッチがまちがっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゾーン選択スイッチを設定してください。</li> <li>・選択したゾーンをご確認ください。</li> <li>・アンド機能を使用しない場合はスイッチを OFFにしてください。(☞P. 25, 26参照)</li> <li>・確実に端子に接続してください。</li> <li>・電源出力端子の容量以下で外部機器をご使 用ください。</li> <li>・カバーを取付けるか外部機器制御スイッ チを押してください(☞P. 17参照)</li> <li>・正しくスイッチを設定してください。 (☞P. 22参照)</li> </ul>

状 態	原 因	点検と処置
表示灯が点灯・点滅しているのに警報音・チャイム音がならない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>音量調節ボリュームが絞ってある。</li> <li>警報音量スイッチが0になっている。</li> <li>アンド機能がはたらいっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適当な音量になるように調整してください。</li> <li>VOL連動あるいは最大に設定してください。</li> <li>アンド機能を使用している場合は、2つのゾーンで人体を連続的に検知しなければ警報音は鳴りません。アンド機能を使用しない場合は、アンドON/OFFスイッチをOFFにしてください。(P.23参照)</li> </ul>
防犯来客報知モードにならない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>キースイッチ入力端子が3つとも(S1、COM、S2)短絡されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キースイッチ入力端子を短絡する場合はS1とCOMを短絡してください。</li> </ul>
受信器が誤動作する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご近所でワイヤレスセキュリティシステムが使用されている。</li> <li>センサの取付け場所が急激な温度変化を起こしている。</li> <li>センサのエリア内に急激な温度変化を起こす物(ストーブ・ファックスなど)がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>送信器・受信器のシステムコードを変更してください。</li> <li>急激な温度変化の起こらない場所に取り付け直してください。</li> <li>エリアからはずれるように温度変化を起こす物を移動するか、エリアの調整を行ってください。</li> </ul>
在宅・外出警戒がセットできない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>キースイッチ入力端子が短絡されていない。</li> <li>ループ異常が発生している(ループ表示灯が点滅している)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キースイッチ入力端子のS1とCOMを金具により短絡してください。</li> <li>送信器・有線入力センサのループを点検してください。(P.18参照)</li> </ul>
ループ表示灯が点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ループ異常が発生している。</li> <li>センサ入力端子が短絡されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>送信器・有線入力センサのループを点検してください。(P.18参照)</li> <li>使用しないセンサ入力端子を金具で短絡してください。(ゾーン3とCOMあるいはゾーン4とCOM)</li> </ul>
バッテリー表示灯が点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>送信器の電池が残り少なくなっている。</li> <li>受信器のバッテリー容量が少なくなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>送信器の電池を交換してください。</li> <li>受信器のバッテリーが充電されるのを待ってください。</li> </ul>
バッテリー表示灯の点滅がとまらない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>送信器の電池を交換してもバッテリー表示灯の点滅はとまりません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受信器の解除ボタンを約5秒間押しつづけるとバッテリー表示灯は消灯します。</li> </ul>
メモリ表示灯が点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅警戒もしくは外出警戒中にセンサが動作したことを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どのゾーンのセンサが動作したのかを確認したのちに解除ボタンを押してください。</li> </ul>
キースイッチ表示灯が点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>キースイッチのタンバがはたらいっている。(タンバ線の断線など)</li> <li>キースイッチタンバ入力端子が短絡されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キースイッチのタンバを復帰させてください。</li> <li>キースイッチタンバ入力端子を使用されないときは、金具で短絡してください。</li> </ul>
非常・火災通報表示灯が点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常・火災の警報動作があったことを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>解除ボタンを押すと、表示灯は消灯します。</li> </ul>
非常・火災通報表示灯の点滅および警報音が止まらない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常・火災信号入力端子が金具で短絡されている。</li> <li>熱感知器など非常・火災信号入力端子に接続されたセンサが動作し続けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常・火災信号入力端子から金具をはずしてください。</li> <li>熱感知器などは、一度電源を切らないと動作は止まりませんので電源を切ってください。</li> </ul>
キースイッチ本体の表示灯が点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>メモリ表示もしくはループ表示をあらわしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キースイッチ本体の表示灯では、メモリ表示とループ異常表示を見分けることはできません。受信器の表示灯によりループ異常かメモリ表示かを確認してください。受信器の解除ボタンを押すとキースイッチ本体の表示灯は消灯します。</li> </ul>

# 16. 仕 様

小電力セキュリティシステムの無線設備		
型 式	WCB-400	
電 源 電 圧	AC100V, 50/60Hz	
消 費 電 力	20W (最大)	
非 常 用 電 源	DC12V 0.8Ah (鉛蓄電池)	
標 準 受 信 距 離	100m(周囲の状況により距離が短くなる場合があります)	
使 用 周 波 数	426MHz帯	
電 波 型 式	F 2 D	
無 線 入 力	警 戒 入 力	4ゾーン×3モード(来客報知・在宅警戒・外出警戒)
	非常・火災信号入力	1ゾーン
有 線 入 力	キースイッチ入力	1回線 (オルタネイト型)
	キースイッチタンパ入力	1回線 (N.C.)
	非常・火災信号入力	1回線 (N.O.)
	センサ入力	2回線 (N.C.,在宅警戒・外出警戒時に使用)
電 源 出 力	DC12V±15%, 200mA	
無電圧接点 リレー出力	警 報 出 力	出力① AC100V, 3A, (N.O.) ② DC30V, 1A, (N.O.) ③ DC30V, 1A, (N.C.以外切替可能)
	キースイッチタンパ出力	DC30V, 1A (N.C.)
	非常・火災通報出力	DC30V, 1A (N.O.)
チャイム音 ・ 警 報 音	チ ャ イ ム	ゾーン① ピンポン ② ポロロン ③ ピッピッ ④ ピッピッピッ
	警 報	ゾーン①~④, 非常・火災, キースイッチタンパ ピーポー
表 示 灯	ゾ ー ン 表 示	警戒セット時 緑色点灯・点滅もしくは赤色点滅 受信時 赤色点灯・点滅
	モ ー ド 表 示	防犯来客報知 セット時 緑色点灯・点滅 在宅警戒 セット時 赤色点灯 ループ異常・メモリ表示時 赤色点滅 外出警戒 セット時 赤色点灯 ループ異常・メモリ表示時 赤色点滅
	非常・火災通報	受信時・ボタン押時 赤色点滅
	ループ・メモリ・バッテリー	異常時 赤色点滅
	キースイッチ	異常時 赤色点滅
警 報 出 力 時 間	約3秒~5分可変	
使 用 温 度 範 囲	-10°C~+40°C	
停 電 補 償	約20分	
設 置 場 所	屋内	
質 量	約2.2kg	
付 属 品	取付ビス タッピンネジ 3本 場所表示シール	

# 17. 外形寸法図



(お断り) この商品は侵入者や火災などを検知し、警報を発するもので盗難・火災防止器ではありません。万一発生した盗難・火災事故による損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

仕様は予告なく変更することがあります。

## WCB-400

### 保証書

保証期間 ※お買い上げ年月日 より <b>1年間</b>	販売店名 ※
お客様 (〒) ご住所 (TEL . . . ) お名前	(お願い) ○※印の欄はお買い上げ時に必ず記入を受けて下さい。記入無き場合、本書は無効となります。 ○本書は大切に保存してください。再発行はいたしません。

### 《保証規定》

- I. 保証の範囲
  1. 取り扱い説明書に記載された正常な使用状態で、保証期間中に万一故障を起こした場合、無償にて修理いたします。お買い上げ店もしくは弊社へ本書を添えてお申し付けください。
  2. この保証は前面に記載された製品について、日本国内に限り通用いたします。
- II. 保証の条件
  1. 次該当する故障は、保証期間(お買い上げ日より1年間)であっても実費にて修理を申し受けることがありません。
    1. 誤った取り扱い、不当な修理・改造を受けた製品の故障。また故意・不注意による損傷に起因する故障。
    2. 災害など不可抗力による損傷。
    3. 本書前面に必要事項の記入が無い場合、また本書の提示がない場合。

**オステックス株式会社**

# オフテックス株式会社

本 社 〒520-0101 滋賀県大津市雄琴5-8-12

TEL(077)579-8620 FAX(077)579-8170

東京営業所 〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-14-1 新宿グリーンタワービル19F

TEL(03)3344-6476 FAX(03)3344-5734



古紙配合率100%再生紙を使用しています

'04.12.6 59-0617-2 MADE IN JAPAN